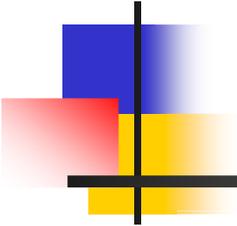


単身急増社会の衝撃



みずほ情報総研(株)

藤森 克彦

Copyright (c) 2011 Mizuho
Information & Research Institute,
Inc.

< 問題意識 >

社会支出 (対GDP比) の国際比較 (2007年)

(%)

0 5 10 15 20 25 30

(高齢化率)

(16.4%) フランス

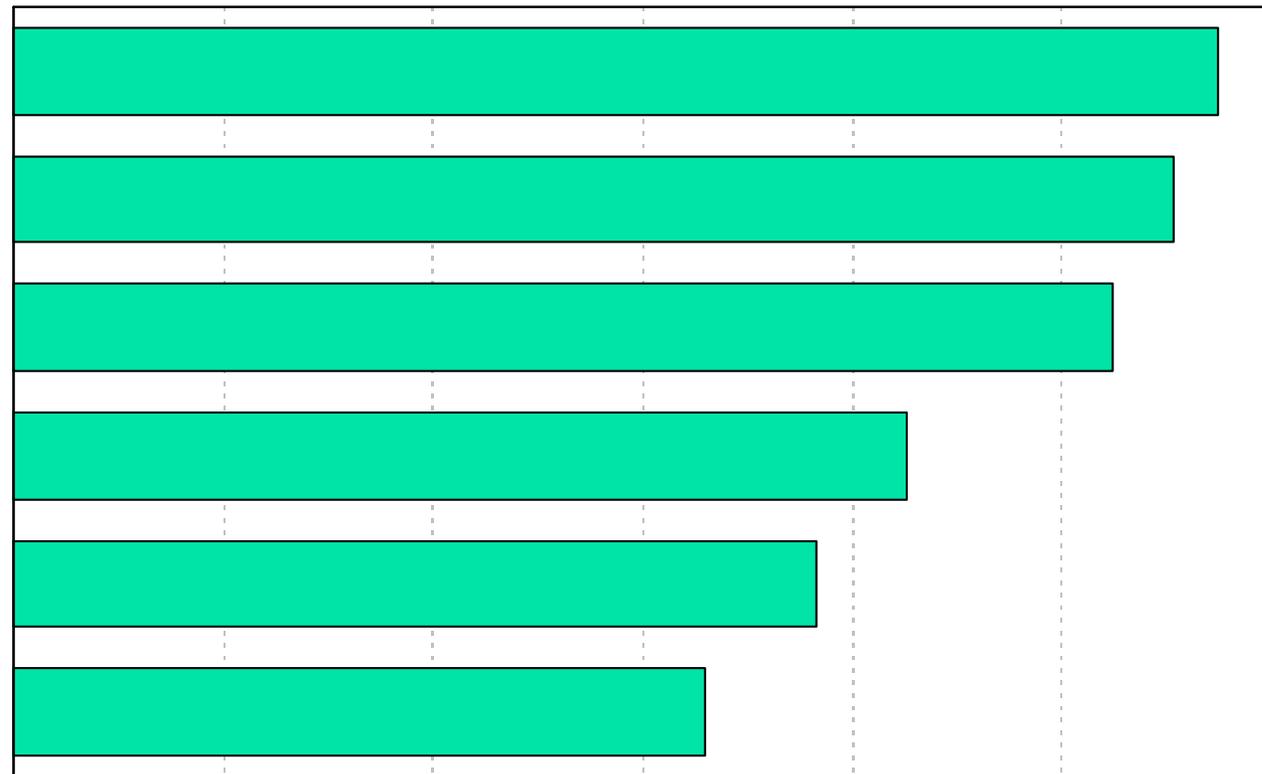
(17.4%) スウェーデン

(19.9%) ドイツ

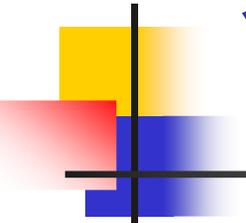
(16.0%) 英国

(21.3%) 日本

(12.6%) 米国

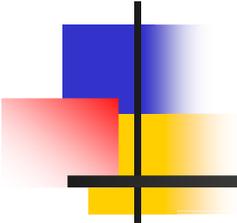


(注)フランスの高齢化率は2006年。(資料)国立社会保障・人口問題研究所『平成20年度社会保障給付費』、高齢化率は国立社会保障・人口問題研究所『人口の動向 日本と世界(人口統計資料集2010)』



発表の構成

- ・ 単身世帯の増加の推移
- ・ なぜ単身世帯は増加したのか
- ・ 今後の単身世帯の動向(05年～30年)
- ・ 都道府県別にみた単身世帯の増加状況
- ・ 単身世帯の増加が社会にもたらす影響
- ・ 「単身急増社会」への対応

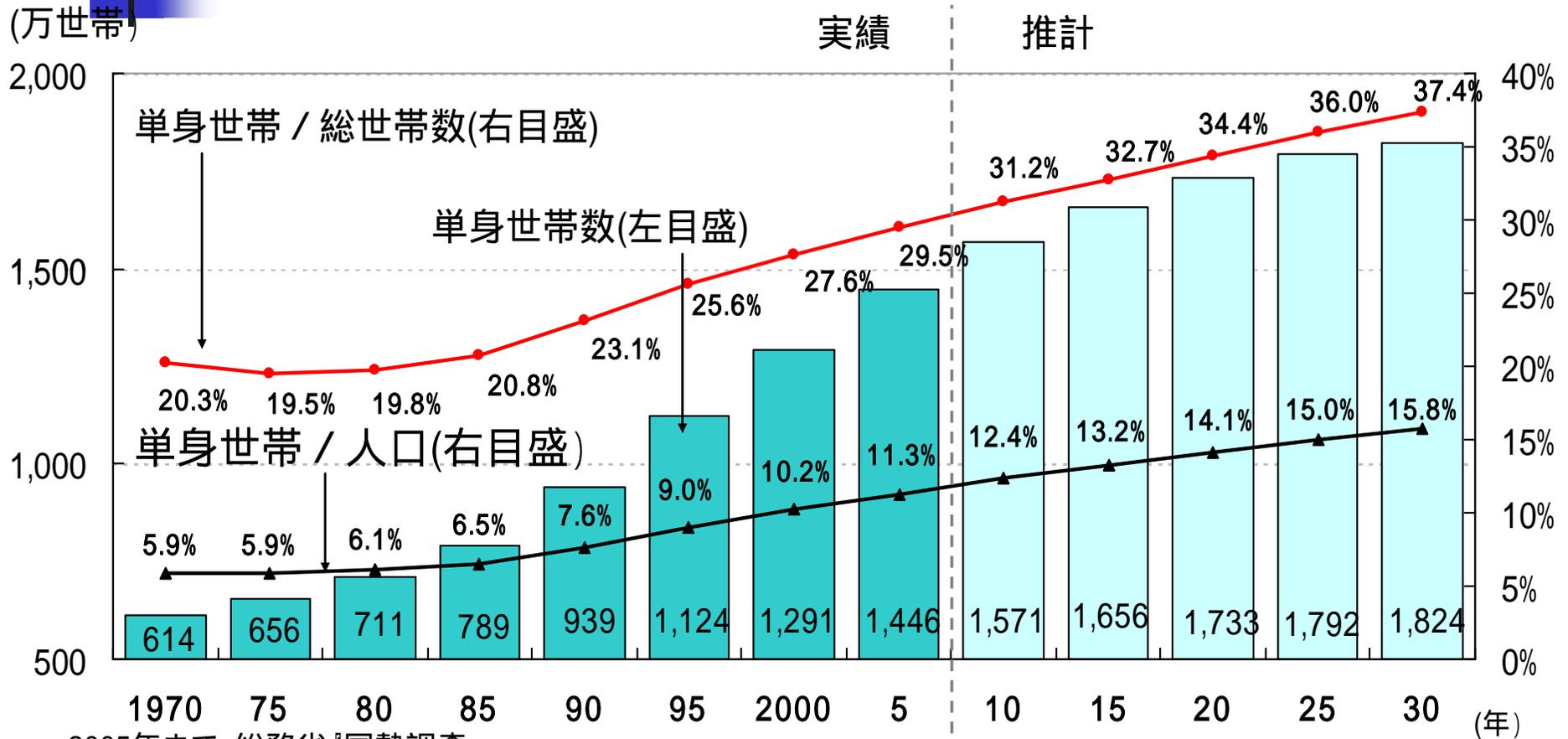


・単身世帯の増加の推移

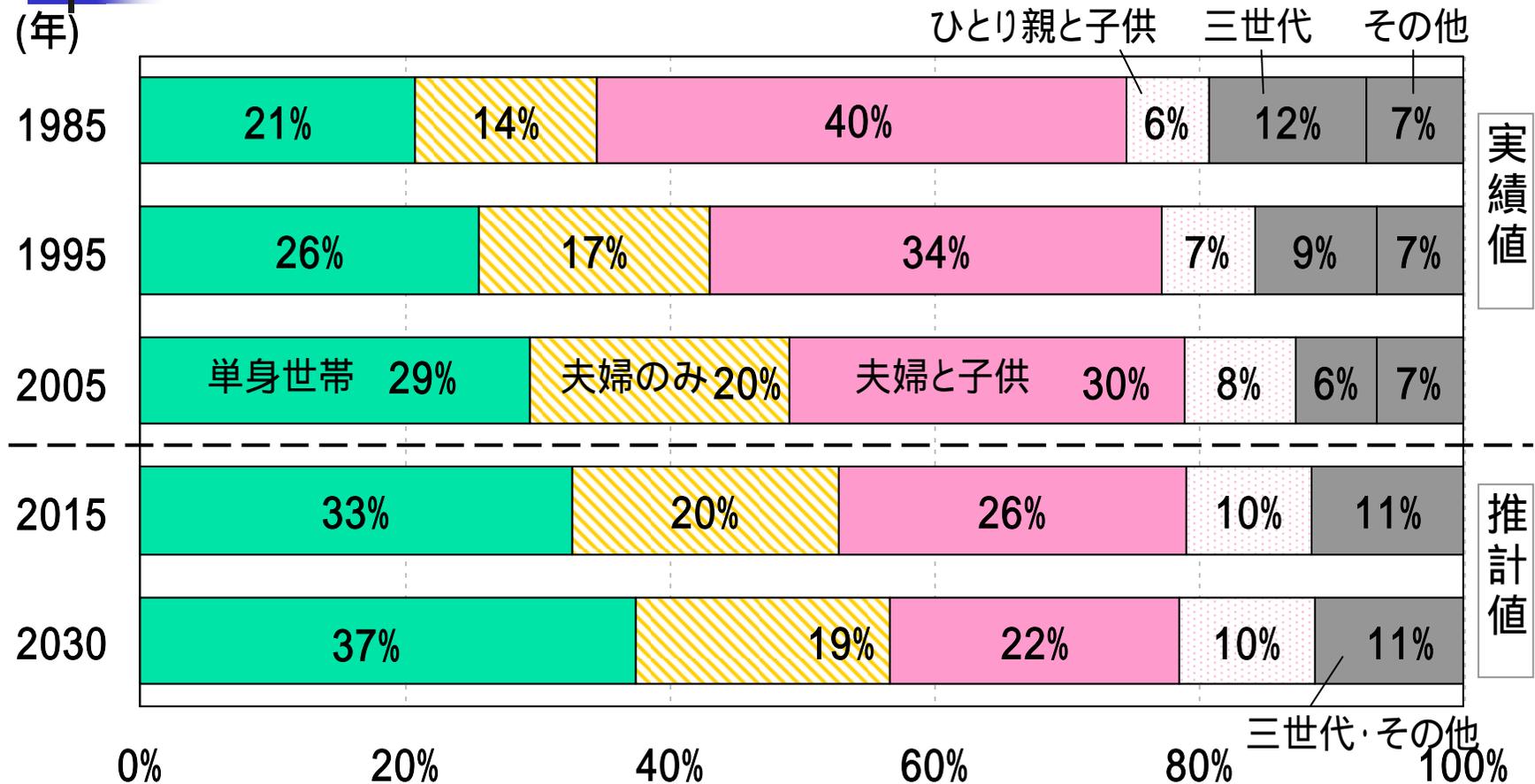
1985年から2005年にかけての変化

1. 単身世帯の全体的動向

70年からの長期的推移



世帯類型の推移



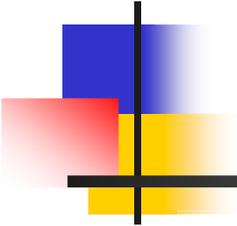
(資料) 実績値: 総務省『国勢調査』時系列データ、

年齢階層別にみた 単身世帯数の変化 (1985年 = 1倍)

	2005年						
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
男性	1.0	1.7	2.2	3.7	4.8	4.1	5.3
女性	1.6	2.5	1.5	1.4	1.6	2.8	6.9

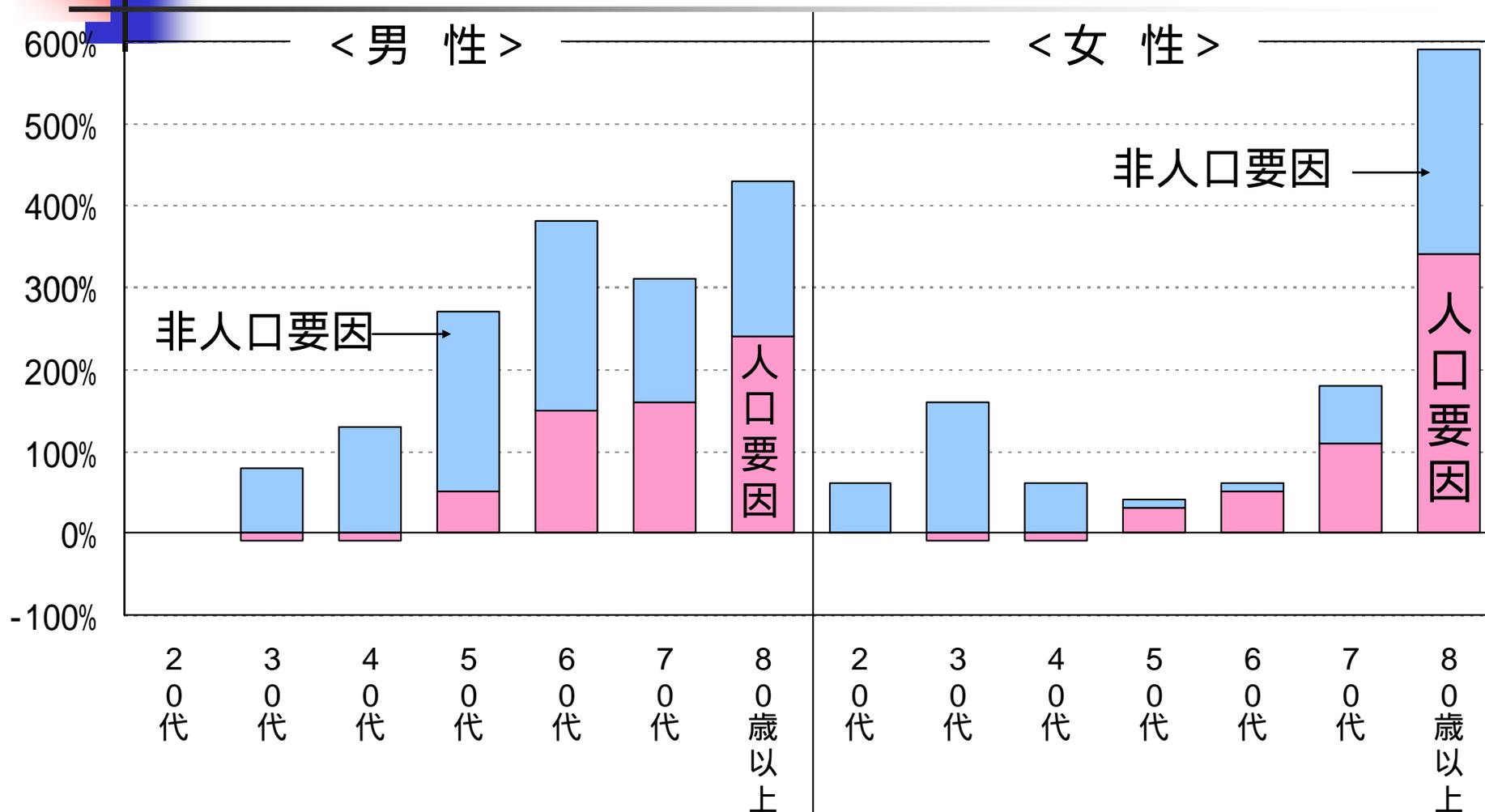
(注) 黄色は2倍以上増加した年齢階層。赤は3倍以上増加した年齢階層

(資料) 総務省『国勢調査』



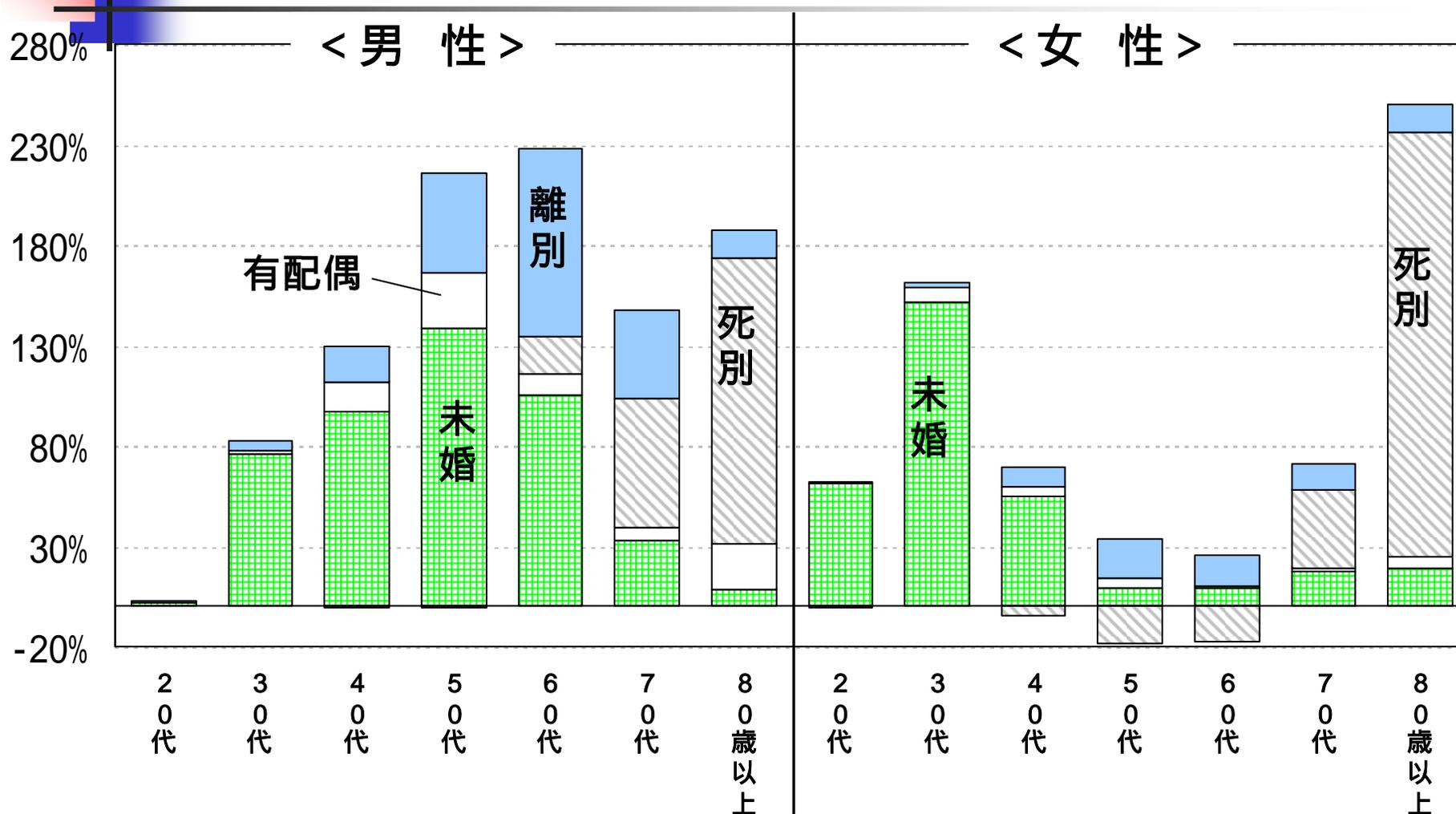
なぜ単身世帯は増加したのか

1985年から2005年にかけての 単身世帯の伸び率の寄与度



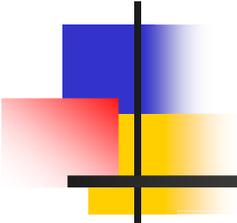
非人口要因による単身世帯の伸び率

85年から05年の寄与度分析



なぜ単身世帯は増加してきたか まとめ

	人口の 影響	質的な変化			
		配偶関係			別居
		未婚	離別	死別	
40代以下	×			-	×
50代男性				-	×
60代男性				×	
70歳以上の 男女				×	

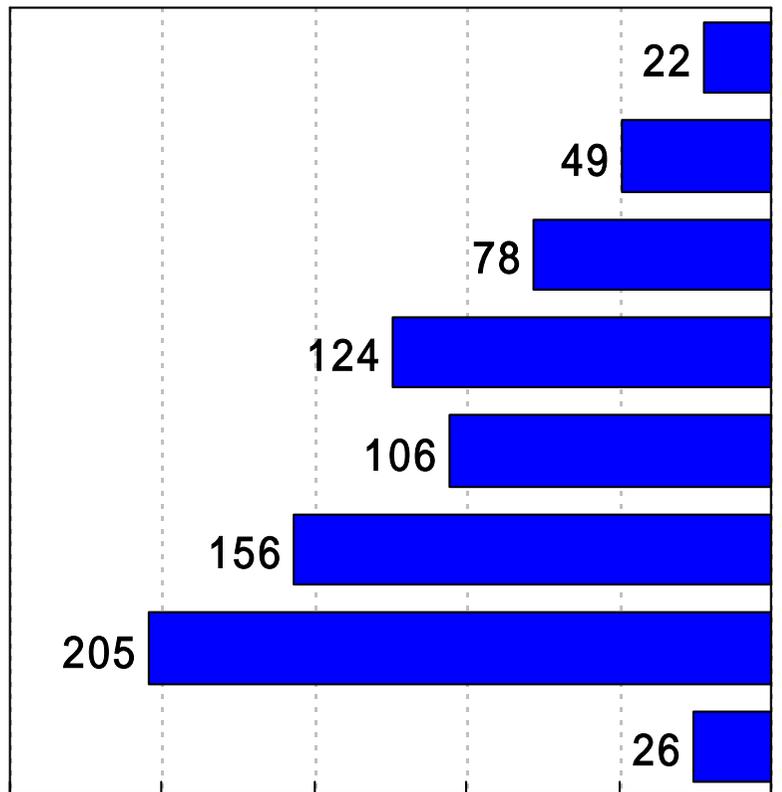


・ 今後の単身世帯の動向

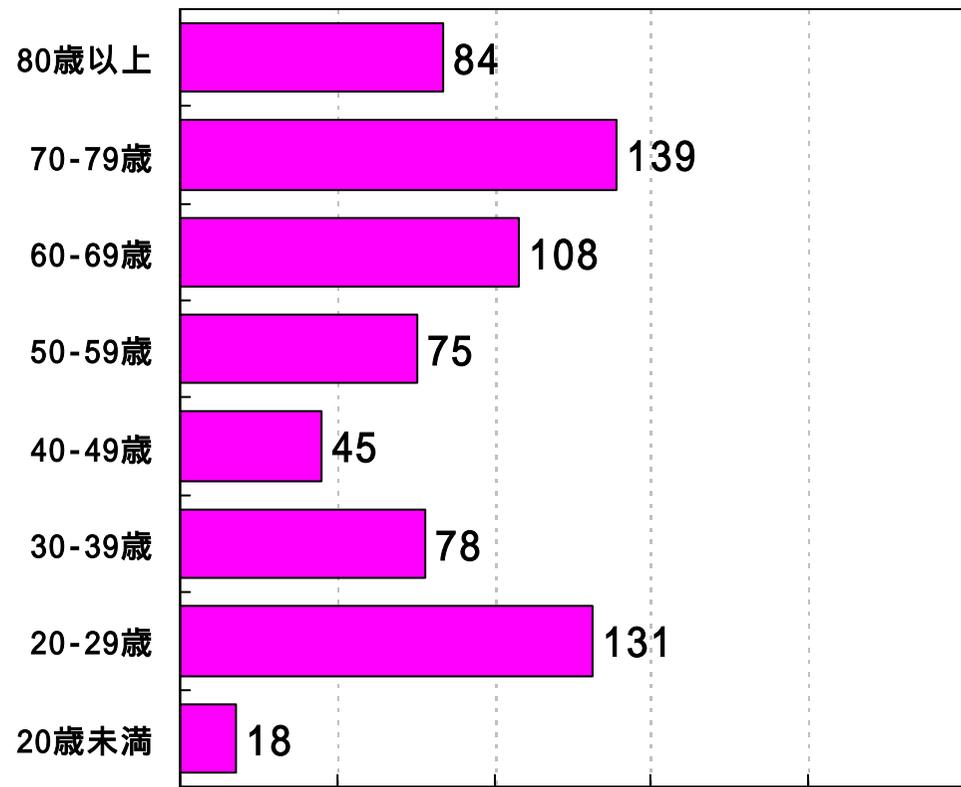
2030年に向けての将来推計

2. 男女別・年齢階層別にみた 単身世帯数の変化(実数、2005年)

2005年：男性



2005年：女性



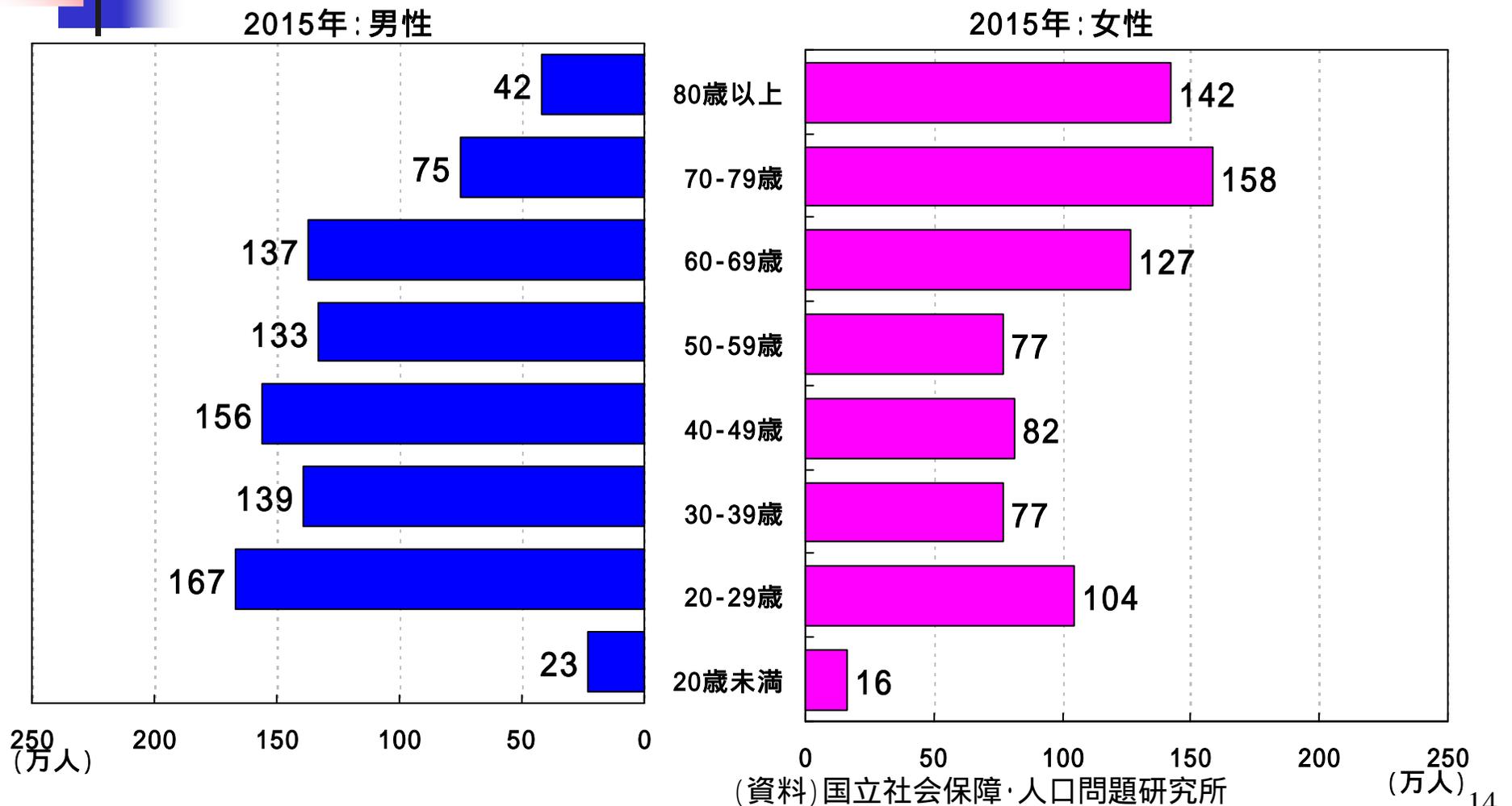
250
(万人)

200 150 100 50 0

0 50 100 150 200 250

(万人)₁₃

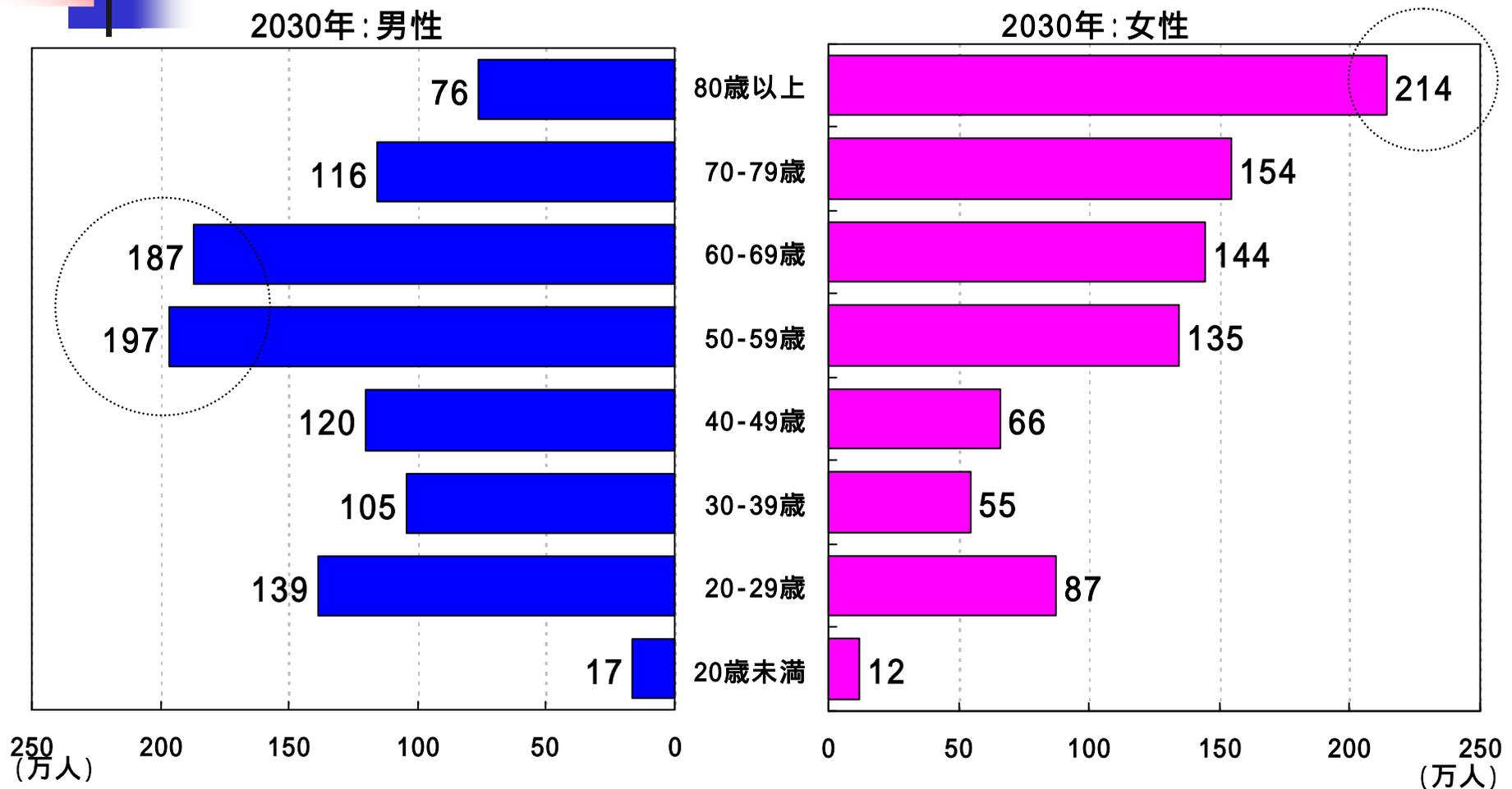
男女別・年齢階層別に見た 単身世帯数の変化(実数、2015年)



(資料) 国立社会保障・人口問題研究所

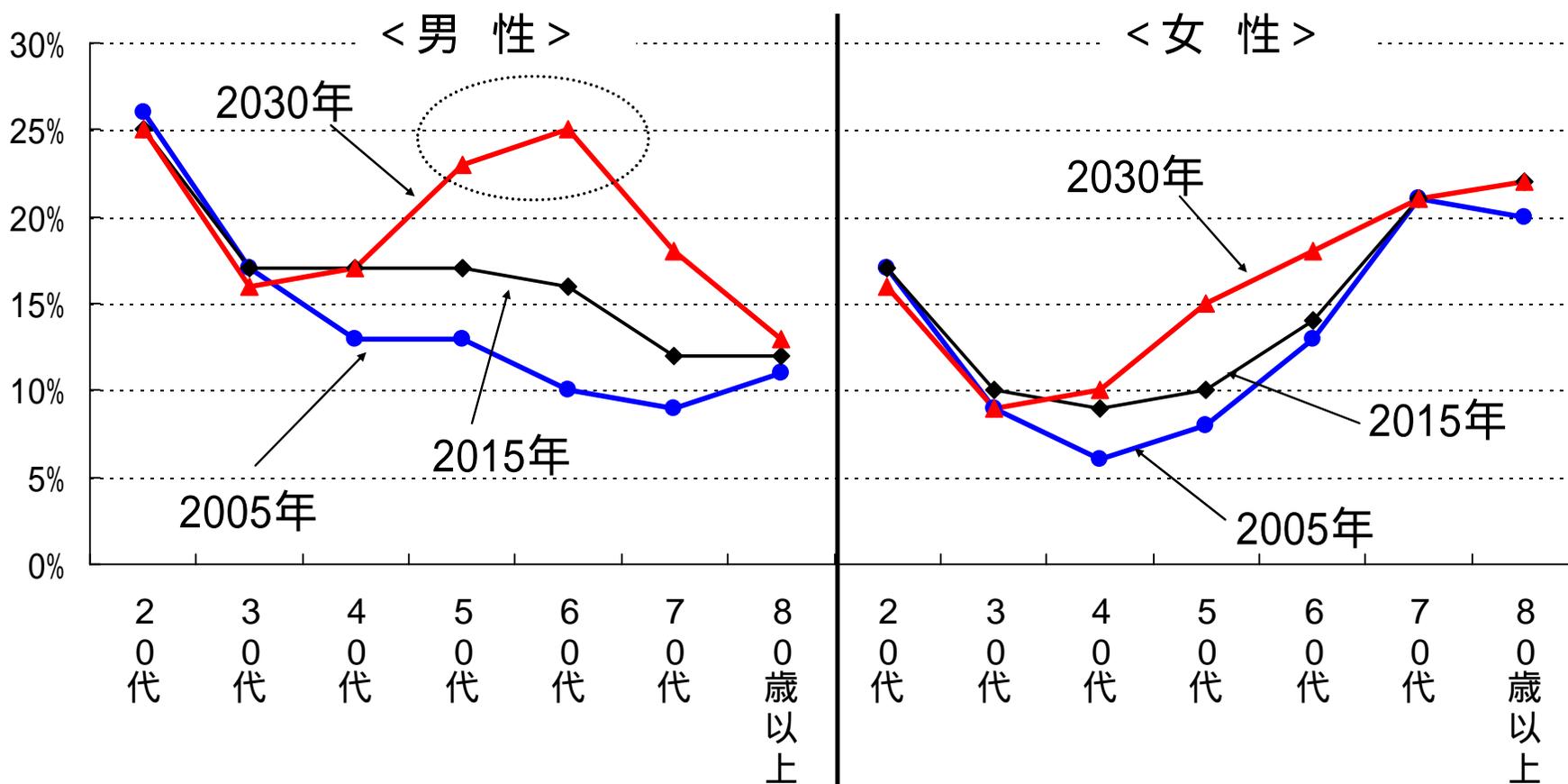
(万人) 14

男女別・年齢階層別にみた 単身世帯数の変化(実数、2030年)



(資料) 国立社会保障・人口問題研究所

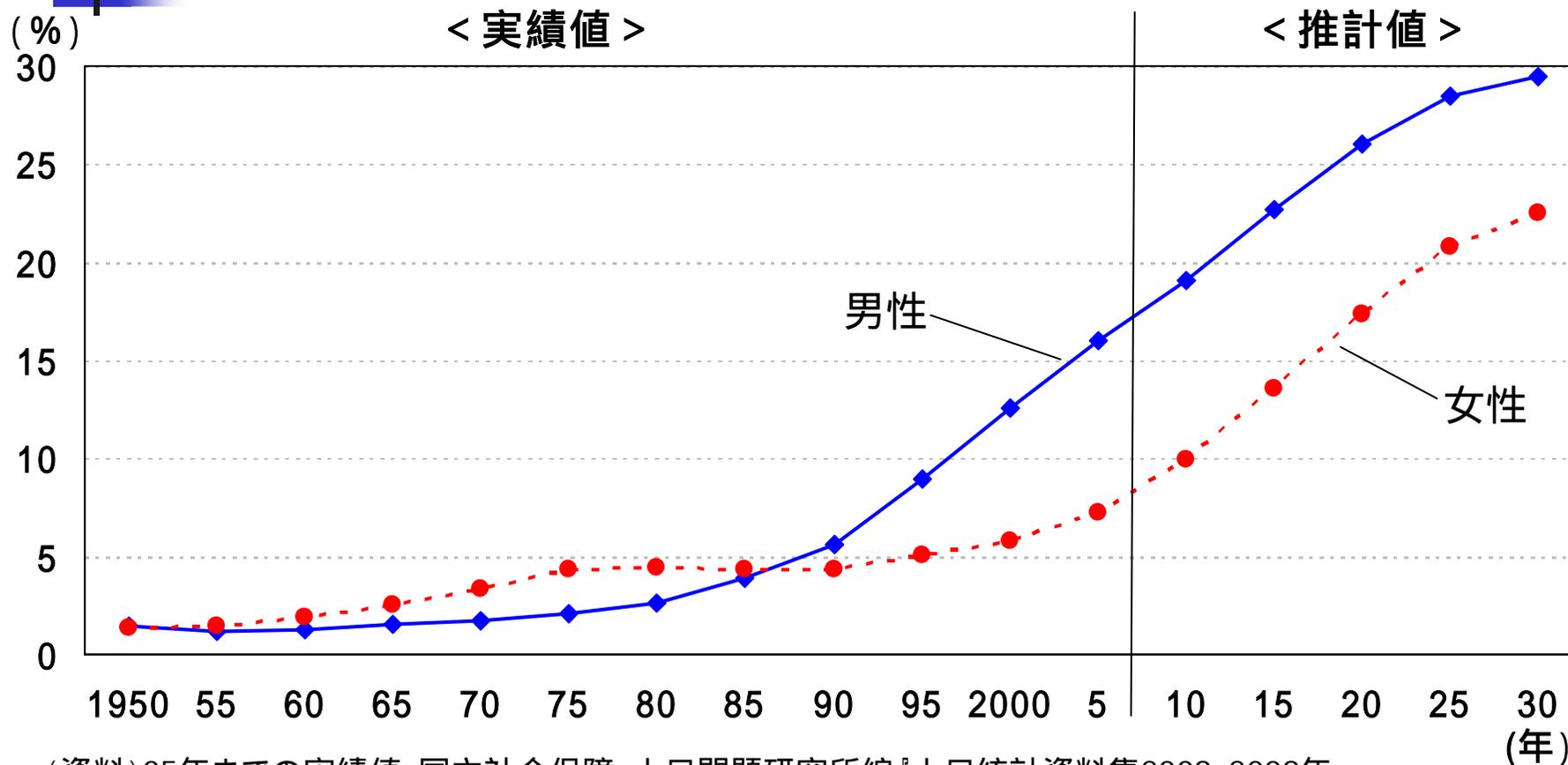
年齢階層別人口に占める単身者の割合 - 2005年、2015年、2030年 -



(資料) 国立社会保障・人口問題研究所編

『日本の世帯数の将来推計(全国推計) - 2008年3月推計

生涯未婚率(50歳時点の未婚者割合)の推移



(資料)05年までの実績値:国立社会保障・人口問題研究所編『人口統計資料集2009』2009年

将来推計:同『日本の世帯数の将来推計(全国推計)2008年3月推計』(結果表4)に基づき、筆者計算。

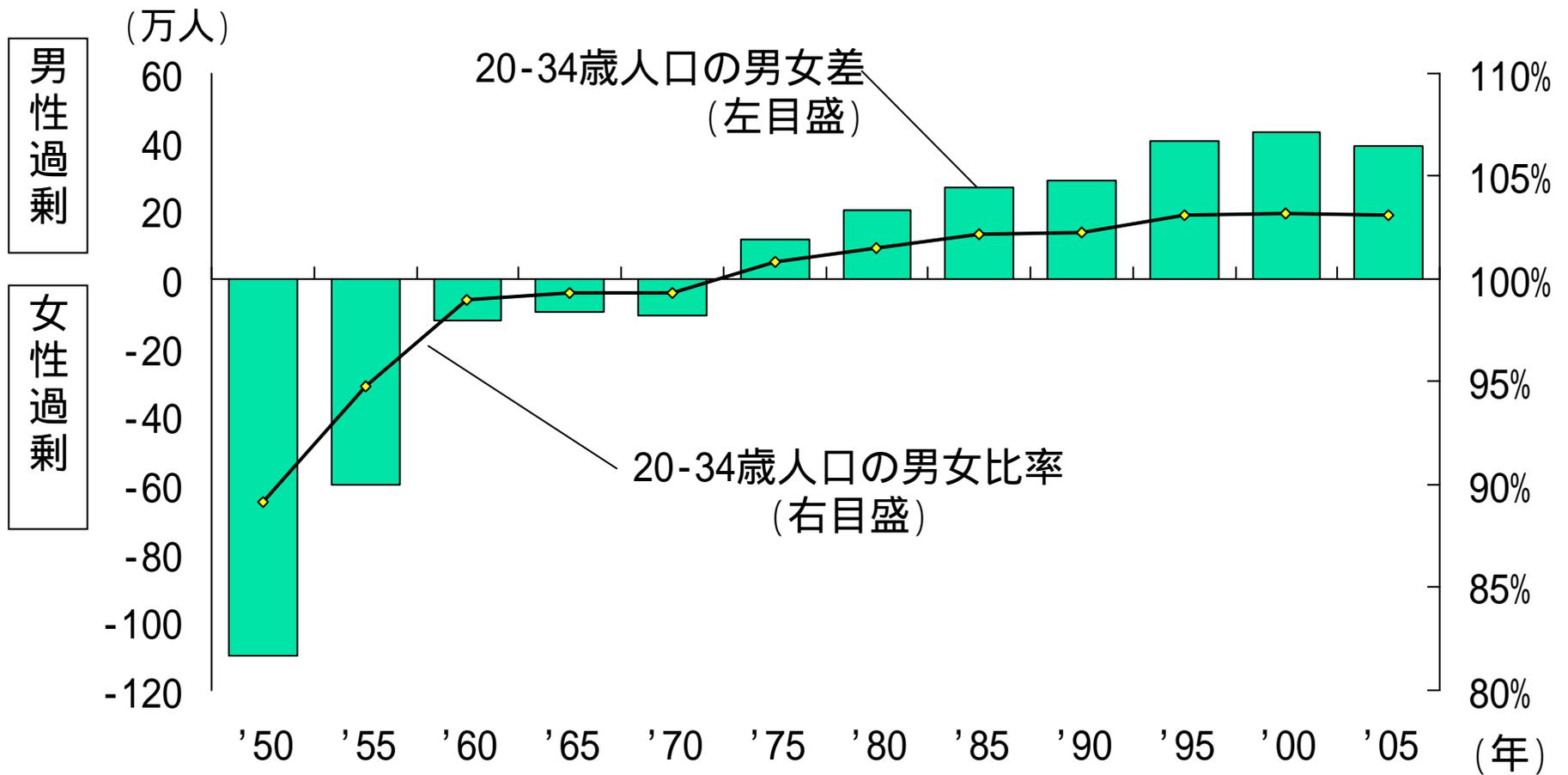
男女別にみた 「高齢未婚者」数と「高齢単身者」数

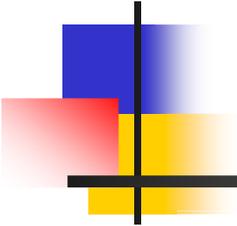
(単位:万人)

		男 性			女 性		
		05年	30年	30年/ 05年	05年	30年	30年/ 05年
65歳以上人口		1,087	1,564	1.4倍	1,480	2,103	1.4倍
	単身者数 (/ %)	105 (9.7)	278 (17.8)	2.6倍	281 (19.0)	439 (20.9)	1.6倍
	未婚者数 (/ %)	26 (2.4)	168 (10.8)	6.5倍	52 (3.5)	120 (5.7)	2.3倍

(資料)05年:総務省『国勢調査』、30年:国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来人口推計』、『日本の世帯数の将来推計』 18
Copyright (c) 2011 Mizuho Information & Research Institute, Inc.

20-34歳人口の男女差の推移





・都道府県別にみた 単身世帯の増加状況

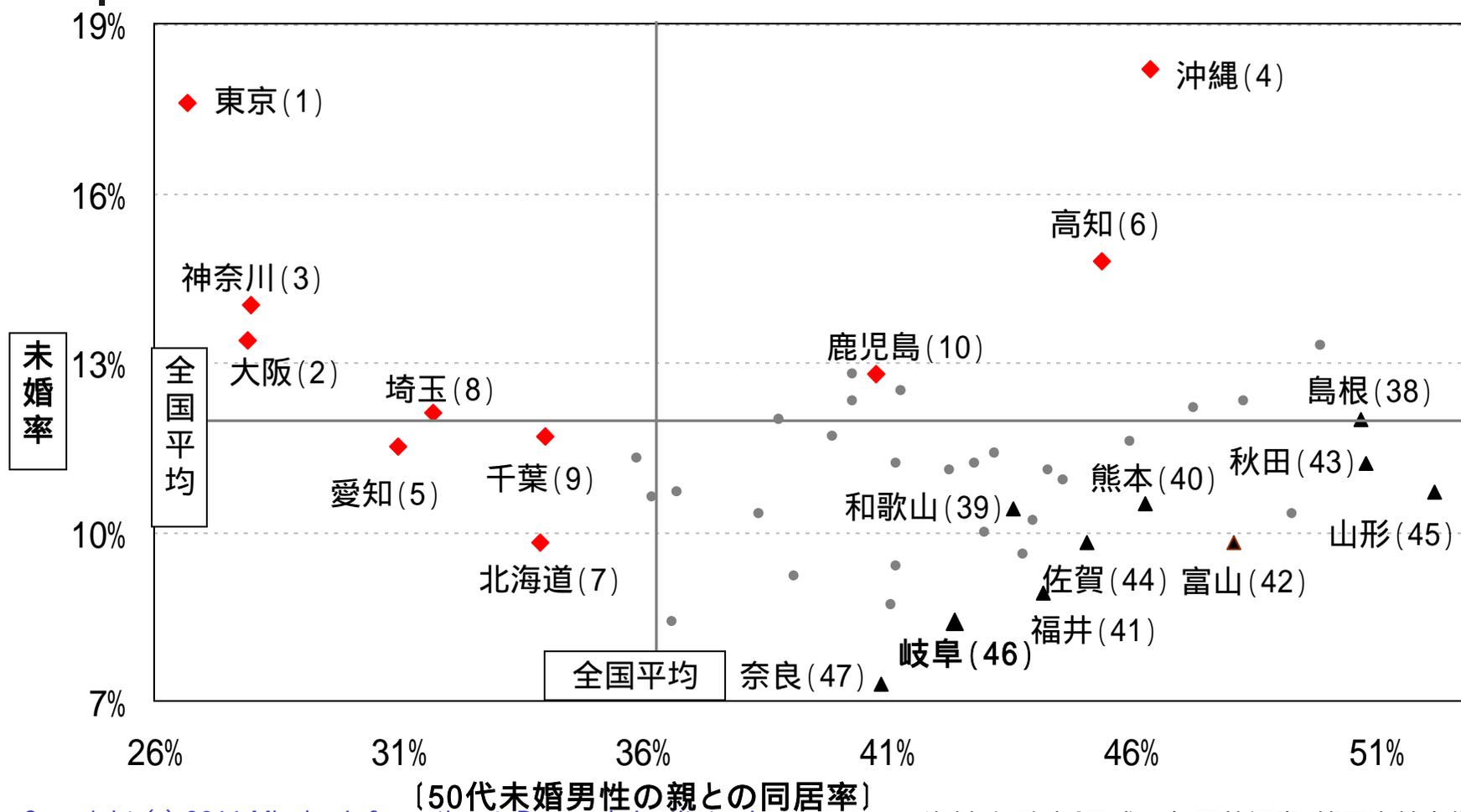
都道府県別にみた男女別・ 年齢階層別人口に占める単身世帯比率(2005年)

		男 性 (2005年)												(単位:%)	
		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上	
全 国		25.7		16.8		13.4		13.1		10.1		9.3		11.0	
岐阜県		16.4 (42位)		10.1 (41位)		8.1 (42位)		8.2 (46位)		6.0 (45位)		5.8 (41位)		6.6 (41位)	
上 位	1位	東京	40.9	東京	29.2	東京	22.5	東京	21.6	東京	17.4	東京	14.9	東京	18.3
	2位	京都	31.9	神奈川	21.2	神奈川	16.6	大阪	16.4	大阪	14.0	大阪	14.7	大阪	16.8
	3位	神奈川	30.4	北海道	19.3	北海道	15.5	神奈川	15.1	沖縄	13.5	沖縄	11.0	鹿児島	15.1
	4位	北海道	28.8	愛知	17.5	大阪	14.8	沖縄	14.6	高知	12.2	兵庫	10.9	京都	13.6
	5位	福岡	28.2	千葉	17.2	愛知	14.4	愛知	14.1	神奈川	11.1	高知	10.8	兵庫	13.4
下 位	43位	佐賀	15.6	奈良	9.8	和歌山	7.9	秋田	8.5	佐賀	6.3	福井	5.4	福井	6.4
	44位	沖縄	15.5	山形	9.6	秋田	7.8	佐賀	8.4	福井	6.1	秋田	5.3	秋田	6.3
	45位	秋田	15.5	佐賀	9.3	奈良	7.7	山形	8.3	岐阜	6.0	富山	5.2	富山	6.2
	46位	奈良	12.5	秋田	8.9	山形	7.6	岐阜	8.2	富山	5.8	新潟	5.0	新潟	6.1
	47位	和歌山	12.1	和歌山	8.9	佐賀	7.6	奈良	7.4	山形	5.8	山形	4.4	山形	5.3

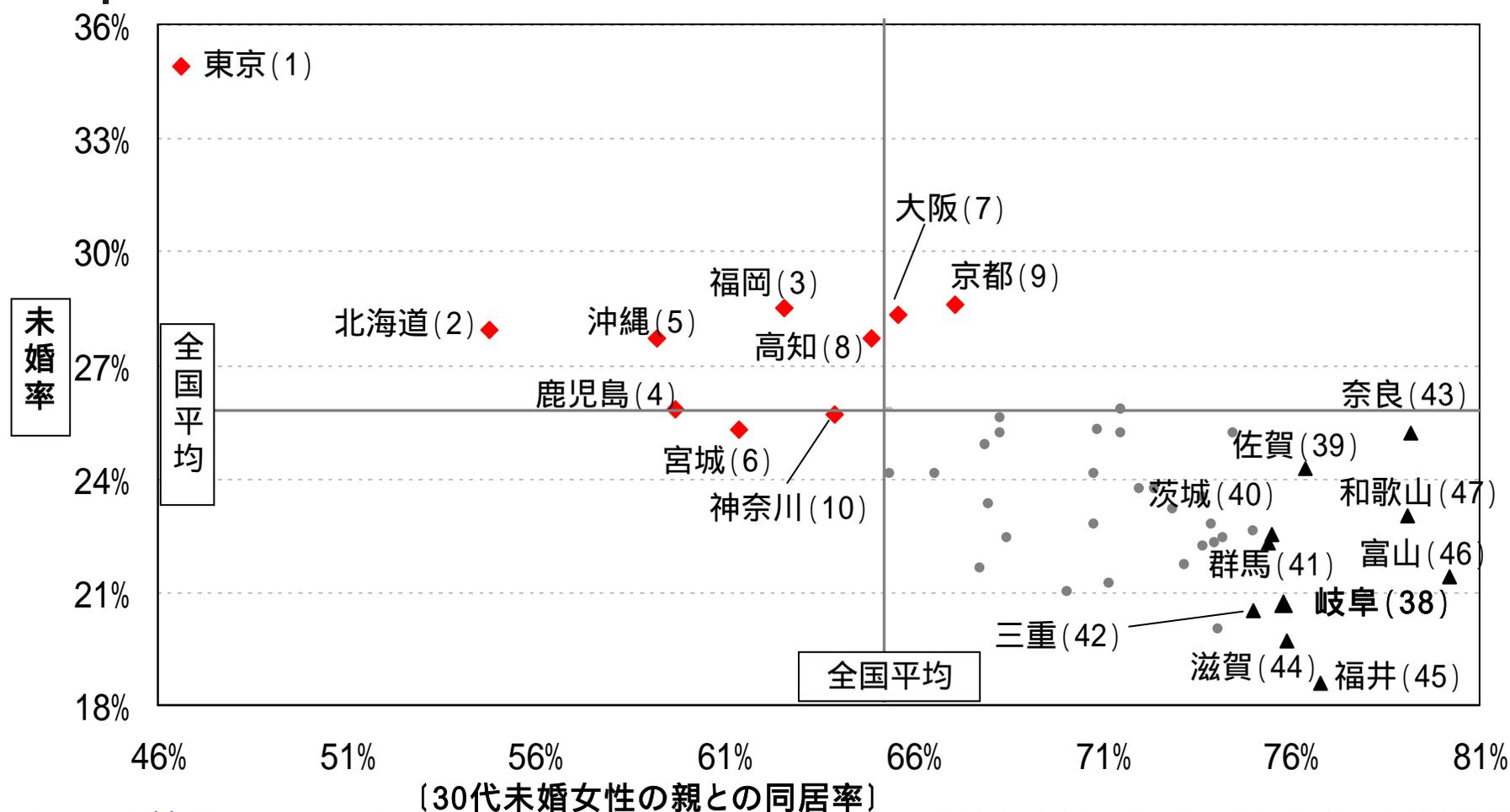
都道府県別にみた男女別・ 年齢階層別人口に占める単身世帯比率(2005年)

		女性 (2005年)												(単位: %)	
		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上	
全国		17.1		8.5		5.8		7.9		13.1		21.1		19.5	
岐阜県		12.3 (35位)		5.2 (38位)		3.1 (46位)		5.2 (43位)		9.5 (41位)		15.1 (37位)		12.7 (39位)	
上位	1位	東京	30.4	東京	18.5	東京	12.5	東京	12.1	東京	17.4	鹿児島	30.6	鹿児島	34.5
	2位	京都	25.5	北海道	11.8	北海道	7.9	北海道	11.1	高知	17.2	大阪	28.6	東京	29.6
	3位	北海道	22.8	福岡	9.9	大阪	7.1	高知	10.8	鹿児島	17.1	東京	28.1	大阪	27.0
	4位	宮城	21.0	鹿児島	9.4	福岡	6.6	沖縄	10.3	大阪	16.7	高知	27.2	高知	26.4
	5位	鹿児島	20.1	沖縄	9.4	高知	6.6	鹿児島	10.1	北海道	16.7	北海道	25.9	宮崎	25.2
下位	43位	富山	10.6	奈良	4.7	富山	3.1	岐阜	5.2	富山	9.2	栃木	14.1	福井	12.1
	44位	群馬	10.4	滋賀	4.6	山形	3.1	茨城	5.1	滋賀	9.1	福井	13.9	茨城	12.0
	45位	三重	10.0	福井	4.4	滋賀	3.1	富山	5.0	茨城	8.8	茨城	13.4	富山	11.4
	46位	奈良	9.5	富山	4.1	岐阜	3.1	山形	5.0	新潟	8.7	新潟	13.2	新潟	11.2
	47位	和歌山	6.9	和歌山	3.9	福井	2.9	滋賀	4.8	山形	8.0	山形	11.4	山形	10.0

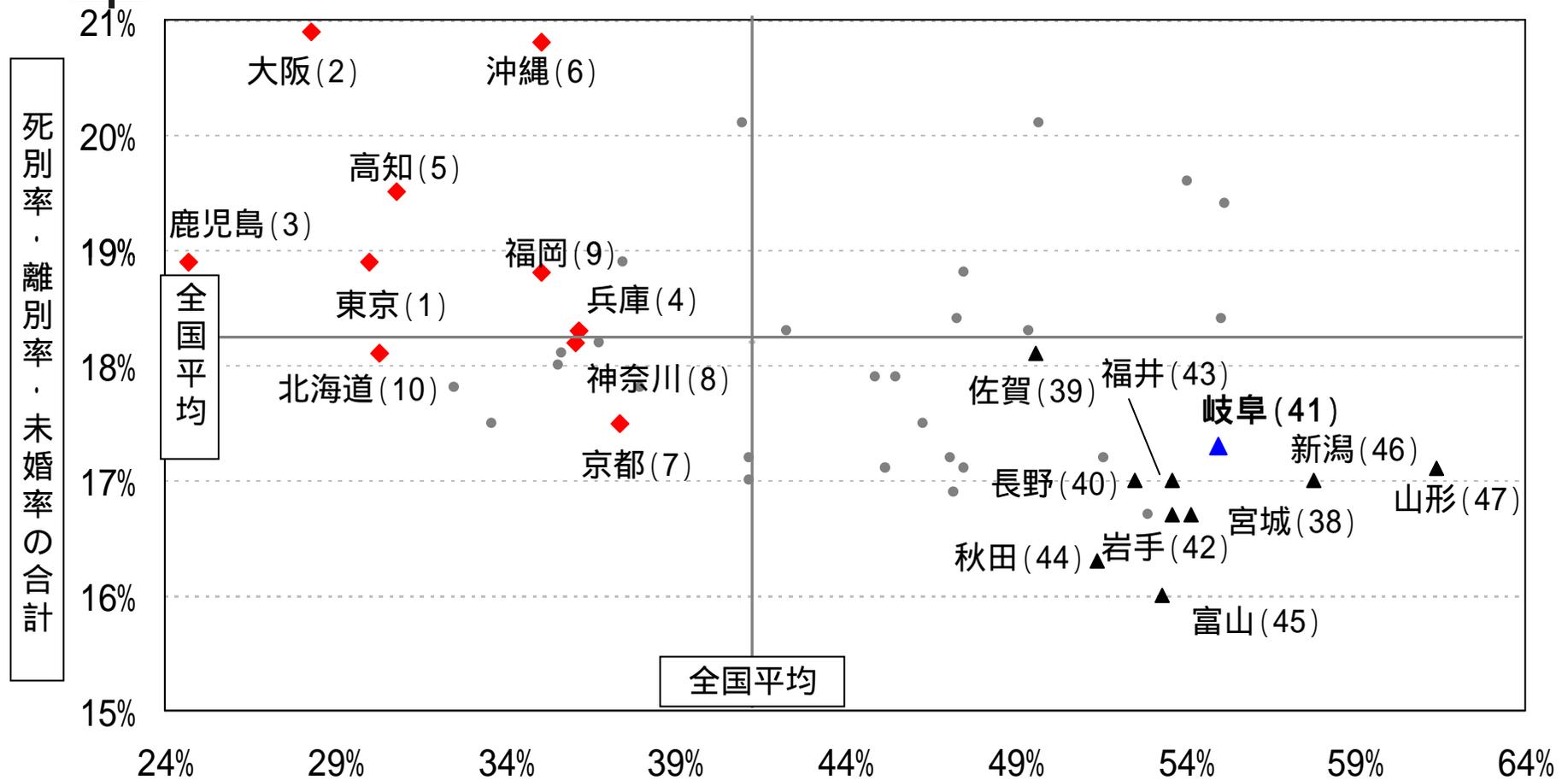
都道府県ごとにみた50代男性の未婚率と親との同居率(2005年)



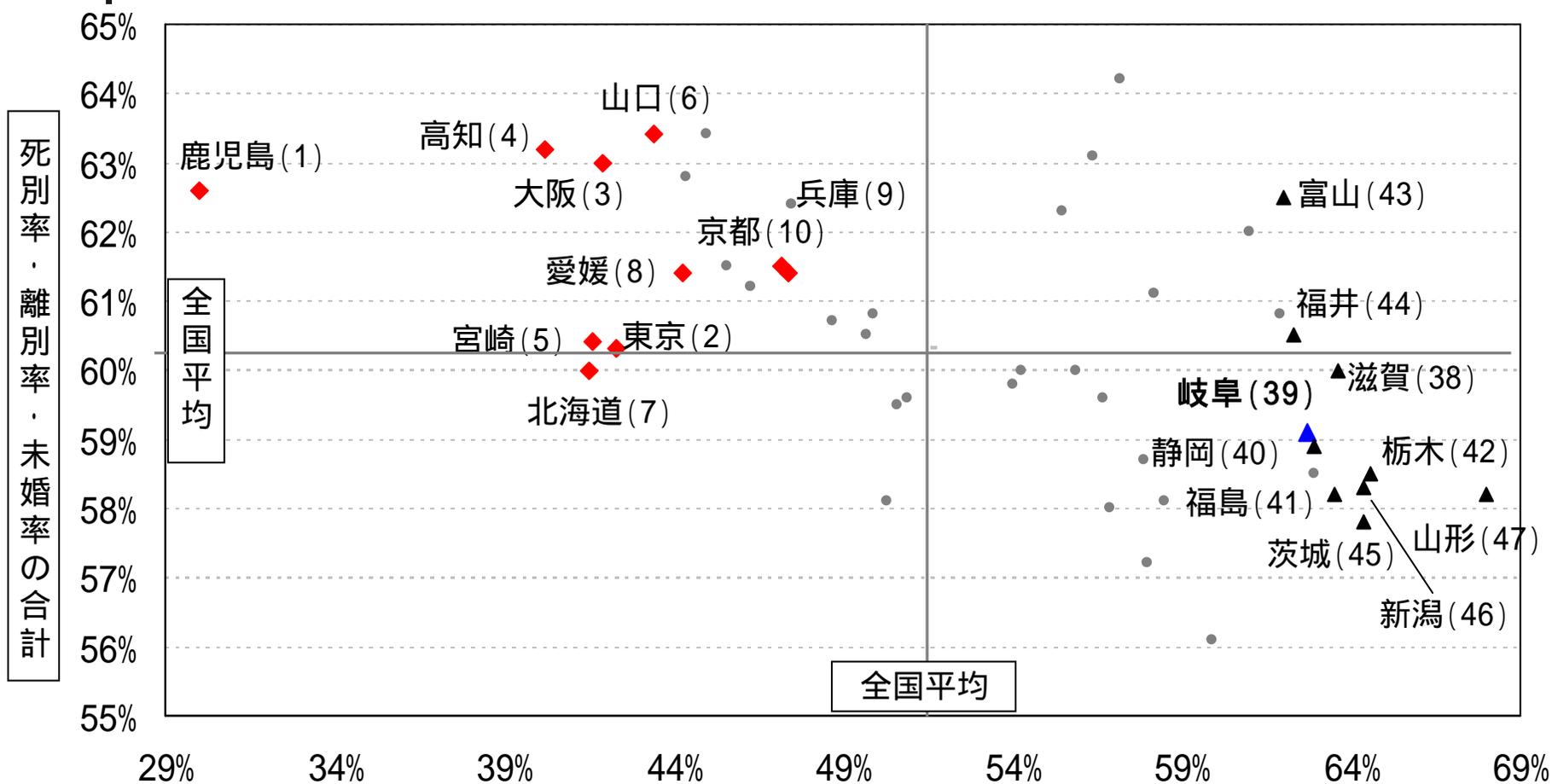
都道府県ごとにみた30代女性の未婚率と親との同居率(2005年)



都道府県別にみた70歳以上男性に占める「死別・離別・未婚者割合」と「子供との同居率」(2005年)



都道府県別にみた70歳以上女性に占める「死別・離別・未婚者割合」と「子供との同居率」(2005年)



〔70歳以上の未婚、死別、離別女性の子との同居率〕

2030年における都道府県別 にみた単身世帯比率(将来推計)

		男 性 (2030年)												(単位: %)	
		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上	
全 国		24.8		16.5		17.0		22.8		24.9		18.5		13.1	
岐 阜 県		19.5 (37位)		13.2 (39位)		12.8 (42位)		16.4 (44位)		18.1 (42位)		14.8(40位)		9.8 (47位)	
上 位	1位	東京	34.3	東京	24.0	東京	23.7	東京	32.0	東京	35.7	大阪	25.7	大阪	16.5
	2位	京都	28.9	神奈川	18.6	神奈川	19.2	大阪	27.0	大阪	31.4	東京	24.1	東京	16.2
	3位	神奈川	28.1	北海道	18.3	北海道	19.1	神奈川	25.0	沖縄	30.9	兵庫	20.6	兵庫	14.8
	4位	石川	27.2	愛知	17.0	大阪	18.1	沖縄	24.4	高知	28.3	沖縄	20.4	鹿児島	14.7
	5位	北海道	26.7	千葉	16.7	愛知	17.9	愛知	23.6	神奈川	26.0	高知	20.0	京都	14.5
下 位	43位	佐賀	17.9	佐賀	12.8	奈良	12.4	佐賀	16.7	佐賀	17.7	富山	14.3	山形	10.1
	44位	青森	17.6	青森	12.5	佐賀	12.4	岐 阜	16.4	山形	17.6	秋田	14.3	島根	10.1
	45位	秋田	17.0	島根	11.9	山形	11.9	秋田	16.2	奈良	17.0	岩手	14.0	岩手	9.9
	46位	奈良	14.8	秋田	11.7	秋田	11.3	奈良	15.3	福井	16.5	新潟	14.0	福井	9.9
	47位	和歌山	14.4	和歌山	11.6	和歌山	10.1	山形	15.3	富山	15.8	山形	13.4	岐 阜	9.8

(資料) 国立社会保障・人口問題研究所『日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)』、27

2030年における都道府県別 にみた単身世帯比率(将来推計)

		女性 (2030年)												(単位: %)	
		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上	
全国		16.3		8.9		9.5		15.4		18.0		20.8		21.9	
岐阜県		14.3 (29位)		6.3 (36位)		5.7 (45位)		10.4 (47位)		14.7 (45位)		18.0 (35位)		16.3 (43位)	
上位	1位	東京	22.2	東京	16.6	東京	18.6	東京	21.5	北海道	22.5	大阪	25.2	鹿児島	32.6
	2位	京都	21.3	北海道	11.9	北海道	11.5	北海道	20.7	東京	21.9	鹿児島	24.9	東京	28.9
	3位	北海道	19.7	福岡	10.0	大阪	10.8	沖縄	19.6	高知	21.7	北海道	24.4	高知	27.3
	4位	宮城	17.7	沖縄	9.7	福岡	10.1	高知	19.2	鹿児島	21.5	東京	23.7	大阪	26.8
	5位	鹿児島	17.5	鹿児島	9.7	高知	10.0	鹿児島	17.8	大阪	20.6	高知	23.4	宮崎	26.3
下位	43位	福島	13.1	滋賀	5.9	茨城	5.9	滋賀	11.3	茨城	14.8	茨城	17.3	岐阜	16.3
	44位	栃木	13.1	福井	5.8	山形	5.8	茨城	11.3	新潟	14.7	鳥取	17.2	新潟	15.9
	45位	佐賀	12.2	群馬	5.7	岐阜	5.7	山形	11.1	岐阜	14.7	新潟	17.2	茨城	15.1
	46位	奈良	11.1	富山	5.4	福井	5.6	富山	10.5	富山	14.5	福井	16.4	富山	15.0
	47位	和歌山	9.3	和歌山	4.8	富山	5.2	岐阜	10.4	山形	14.2	山形	16.4	山形	14.9

(資料) 国立社会保障・人口問題研究所『日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)』、

都道府県別にみた単身世帯比率(男性) 2005年から2030年にかけての変化(増減幅)

		男 性 (2030年の比率-2005年の比率:%)													
		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上	
全国		-1.0		-0.3		3.6		9.7		14.7		9.2		2.1	
岐阜県		3.2 (2位)		3.1 (5位)		4.8 (2位)		8.2 (36位)		12.1 (38位)		9.0 (32位)		3.2 (15位)	
上位	1位	沖縄	3.8	佐賀	3.6	佐賀	4.9	大阪	10.6	東京	18.3	大阪	11.0	山形	4.8
	2位	岐阜	3.2	山形	3.4	岐阜	4.8	東京	10.4	大阪	17.4	兵庫	9.6	富山	4.4
	3位	佐賀	2.4	奈良	3.3	奈良	4.8	神奈川	9.9	沖縄	17.4	沖縄	9.4	新潟	4.3
	4位	和歌山	2.3	富山	3.2	熊本	4.5	沖縄	9.7	高知	16.1	東京	9.2	秋田	4.3
	5位	奈良	2.3	岐阜	3.1	岡山	4.2	高知	9.5	神奈川	14.9	鳥取	9.2	静岡	4.0
下位	43位	神奈川	-2.3	愛知	-0.5	秋田	3.5	福島	8.0	三重	11.5	大分	8.4	神奈川	1.1
	44位	福岡	-2.4	千葉	-0.5	大阪	3.3	福井	7.9	佐賀	11.4	山梨	8.4	京都	1.0
	45位	広島	-2.6	北海道	-1.0	神奈川	2.6	秋田	7.7	奈良	10.7	岩手	8.4	大阪	-0.3
	46位	京都	-3.0	神奈川	-2.6	和歌山	2.2	山形	7.0	福井	10.4	滋賀	8.4	鹿児島	-0.3
	47位	東京	-6.6	東京	-5.2	東京	1.3	和歌山	7.0	富山	10.1	群馬	8.3	東京	-2.1

(資料) 国立社会保障・人口問題研究所『日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)』、29

都道府県別にみた単身世帯比率(女性) 2005年から2030年にかけての変化(増減幅)

		女 性 (2005年の比率-1985年の比率:%)													
		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上	
全 国		-0.9		0.4		3.8		7.5		5.0		-0.3		2.3	
岐阜県		2.0 (11位)		1.1 (8位)		2.7 (44位)		5.2 (47位)		5.3 (21位)		3.0 (10位)		3.6 (16位)	
上 位	1位	三重	3.3	福井	1.3	東京	6.1	北海道	9.7	山形	6.2	山形	5.0	山形	4.9
	2位	群馬	3.0	奈良	1.3	大阪	3.7	東京	9.4	茨城	6.0	新潟	4.0	新潟	4.6
	3位	埼玉	2.9	滋賀	1.3	北海道	3.5	沖縄	9.3	新潟	6.0	茨城	3.9	福井	4.5
	4位	茨城	2.8	三重	1.3	京都	3.5	高知	8.4	滋賀	6.0	栃木	3.5	静岡	4.4
	5位	富山	2.7	富山	1.2	高知	3.4	青森	8.1	長野	5.9	福島	3.3	福島	4.2
下 位	43位	鹿児島	-2.6	鹿児島	0.3	山形	2.7	茨城	6.1	鹿児島	4.4	山口	-2.9	高知	1.0
	44位	北海道	-3.2	宮城	0.1	岐阜	2.7	栃木	6.0	山口	4.3	大阪	-3.4	愛媛	0.8
	45位	宮城	-3.3	北海道	0.1	福井	2.6	福井	5.9	宮崎	4.3	高知	-3.8	大阪	-0.1
	46位	京都	-4.2	福岡	0.1	和歌山	2.6	富山	5.5	福岡	4.0	東京	-4.4	東京	-0.8
	47位	東京	-8.2	東京	-1.9	富山	2.0	岐阜	5.2	大阪	3.9	鹿児島	-5.7	鹿児島	-1.9

(資料) 国立社会保障・人口問題研究所『日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)』、30

都道府県別にみた単身世帯数(男性) 2005年から2030年にかけての増加倍数

		男 性 (単位:倍)													
		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上	
全 国		0.7		0.7		1.1		1.6		2.4		2.4		3.4	
岐阜県		0.9 (2位)		0.9 (6位)		1.4 (2位)		1.7 (6位)		2.7 (4位)		2.7 (15位)		4.0 (11位)	
上 位	1位	沖縄	1.0	佐賀	1.1	滋賀	1.5	滋賀	1.9	沖縄	3.0	沖縄	3.3	埼玉	5.2
	2位	岐阜	0.9	沖縄	1.0	岐阜	1.4	愛知	1.9	滋賀	2.9	茨城	3.1	千葉	4.8
	3位	佐賀	0.8	山形	1.0	佐賀	1.4	東京	1.9	神奈川	2.8	山形	3.1	静岡	4.5
	4位	富山	0.8	鳥取	1.0	岡山	1.3	神奈川	1.9	岐阜	2.7	栃木	3.1	滋賀	4.4
	5位	三重	0.8	熊本	0.9	鳥取	1.3	沖縄	1.7	愛知	2.7	宮城	3.1	愛知	4.4
下 位	43位	青森	0.6	大阪	0.6	鹿児島	1.0	秋田	1.2	徳島	2.1	京都	2.0	長崎	2.6
	44位	山口	0.6	北海道	0.6	岩手	1.0	青森	1.2	大阪	1.9	大阪	1.9	愛媛	2.6
	45位	秋田	0.6	千葉	0.6	青森	1.0	鹿児島	1.2	和歌山	1.9	山口	1.9	島根	2.4
	46位	宮城	0.6	神奈川	0.6	秋田	0.9	和歌山	1.2	山口	1.9	和歌山	1.8	高知	2.2
	47位	北海道	0.5	東京	0.6	和歌山	0.9	長崎	1.2	高知	1.8	高知	1.7	鹿児島	1.9

(資料) 国立社会保障・人口問題研究所『日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)』、31

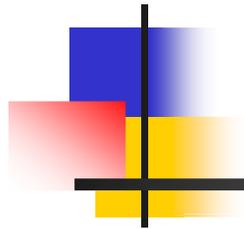
都道府県別にみた単身世帯数(女性)

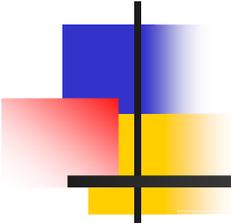
2005年から2030年にかけての増加倍数

		女 性 (単位:倍)													
		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70-79歳		80歳以上	
全 国		0.7		0.7		1.5		1.8		1.3		1.1		2.6	
岐阜県		0.8 (12位)		0.8 (9位)		1.5 (9位)		1.7 (20位)		1.4 (19位)		1.3 (10位)		2.8 (10位)	
上 位	1位	滋賀	1.0	滋賀	1.0	滋賀	2.0	滋賀	2.4	滋賀	1.9	茨城	1.6	埼玉	4.3
	2位	三重	1.0	福井	0.9	愛知	1.7	東京	2.3	沖縄	1.8	埼玉	1.6	千葉	3.8
	3位	沖縄	1.0	佐賀	0.9	東京	1.6	神奈川	2.2	茨城	1.6	沖縄	1.6	神奈川	3.5
	4位	群馬	0.9	沖縄	0.9	沖縄	1.6	愛知	2.2	栃木	1.6	滋賀	1.5	愛知	3.2
	5位	埼玉	0.9	山形	0.9	埼玉	1.6	沖縄	2.2	神奈川	1.6	栃木	1.5	静岡	3.1
下 位	43位	高知	0.6	愛媛	0.7	高知	1.2	高知	1.3	和歌山	1.1	和歌山	0.8	愛媛	1.9
	44位	東京	0.6	高知	0.7	和歌山	1.2	宮崎	1.3	秋田	1.1	島根	0.8	長崎	1.8
	45位	鹿児島	0.6	大阪	0.6	青森	1.1	青森	1.3	大分	1.1	鹿児島	0.8	島根	1.7
	46位	宮城	0.5	東京	0.6	北海道	1.1	長崎	1.3	高知	1.0	山口	0.8	高知	1.7
	47位	北海道	0.5	北海道	0.6	秋田	1.1	秋田	1.2	山口	0.9	高知	0.7	鹿児島	1.4

(資料) 国立社会保障・人口問題研究所『日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)』、32

・ 単身世帯の増加が 社会にもたらす影響





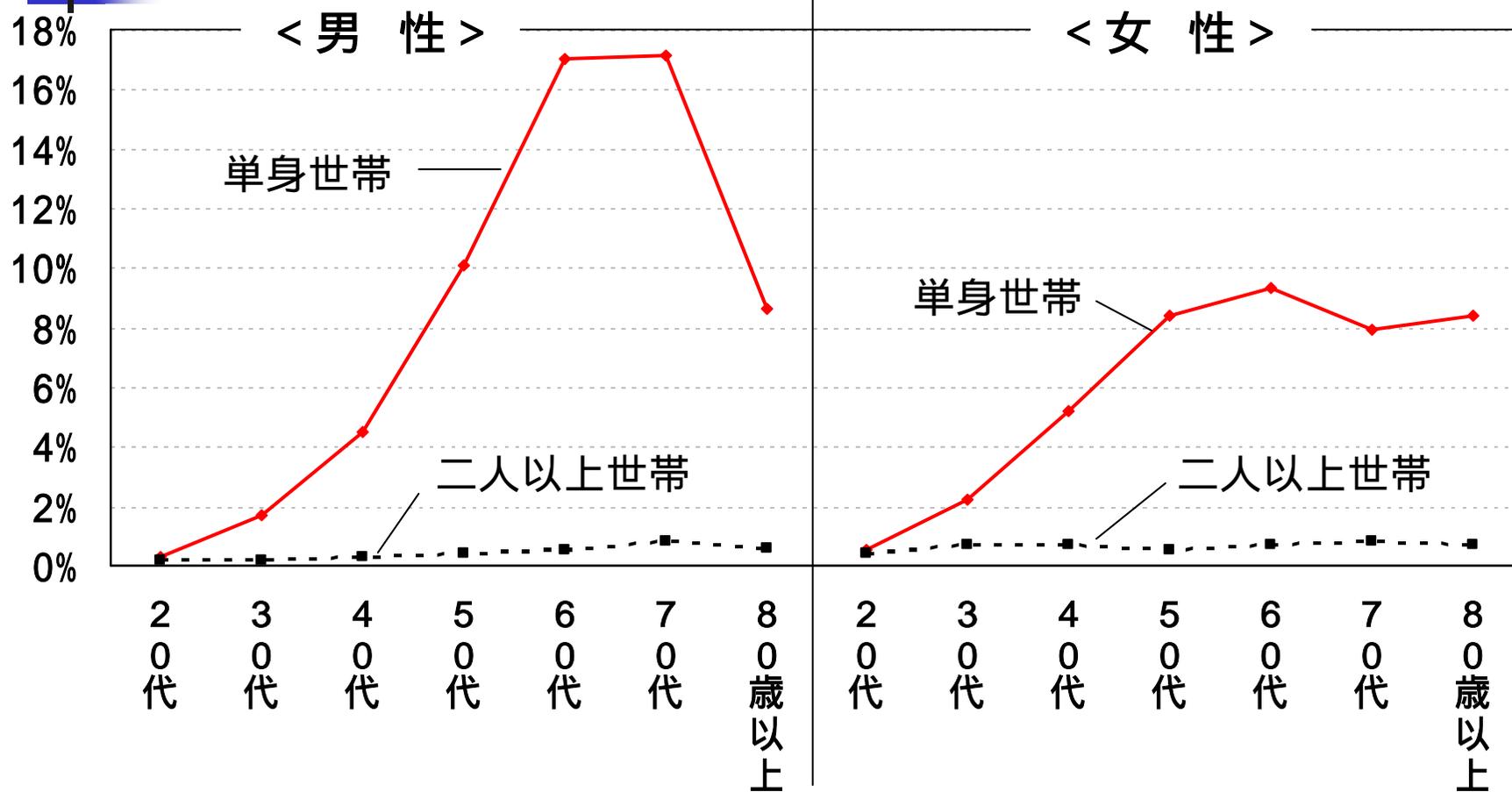
1. 貧困層の増大

単身世帯における年収150万円未満 世帯の割合(2004年、単位：%)

			30歳 未満	30 代	40 代	50 代	60 代	70歳 以上
単身世帯	男性	150万 円未満	5.2	2.1	4.2	13.0	20.4	14.3
	女性	150万 円未満	9.6	7.7	13.3	25.3	25.6	29.4
夫婦の み世帯		200万 円未満	2.1	1.1	1.2	3.1	5.9 (60歳以上)	-

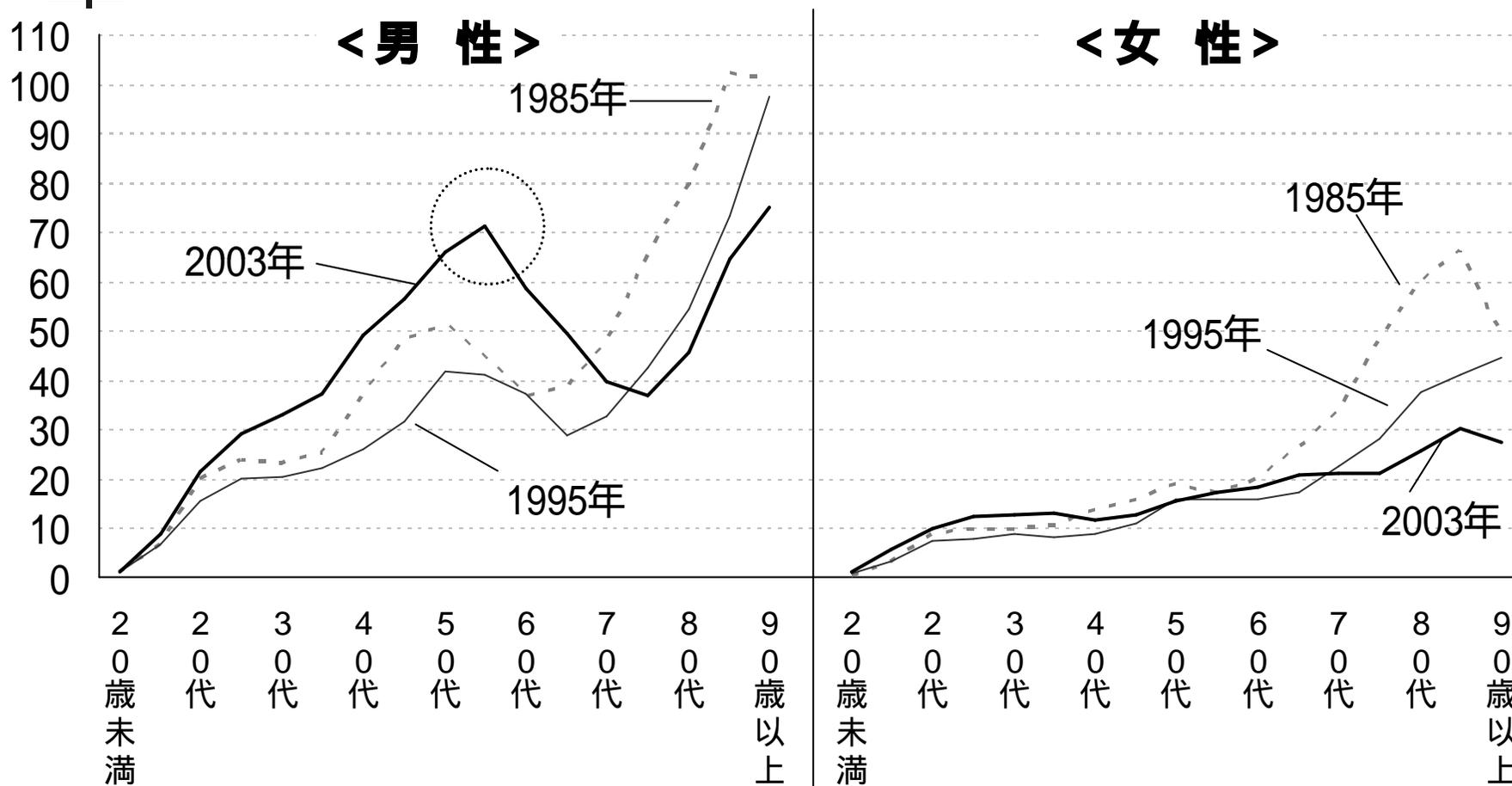
(資料)総務省『平成16年 全国消費実態調査(世帯分布編)』第3・12表

単身世帯に占める 生活保護受給者の割合(2007年)

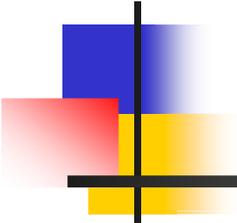


(資料)厚生労働省『平成19年被保護者世帯全国一斉調査』、厚生労働省『平成19年国民生活基礎調査』
Copyright (c) 2011 Mizuho Information & Research Institute, Inc.

性・年齢(5歳階級)別自殺死亡率 (人口10万人対比)の年次比較

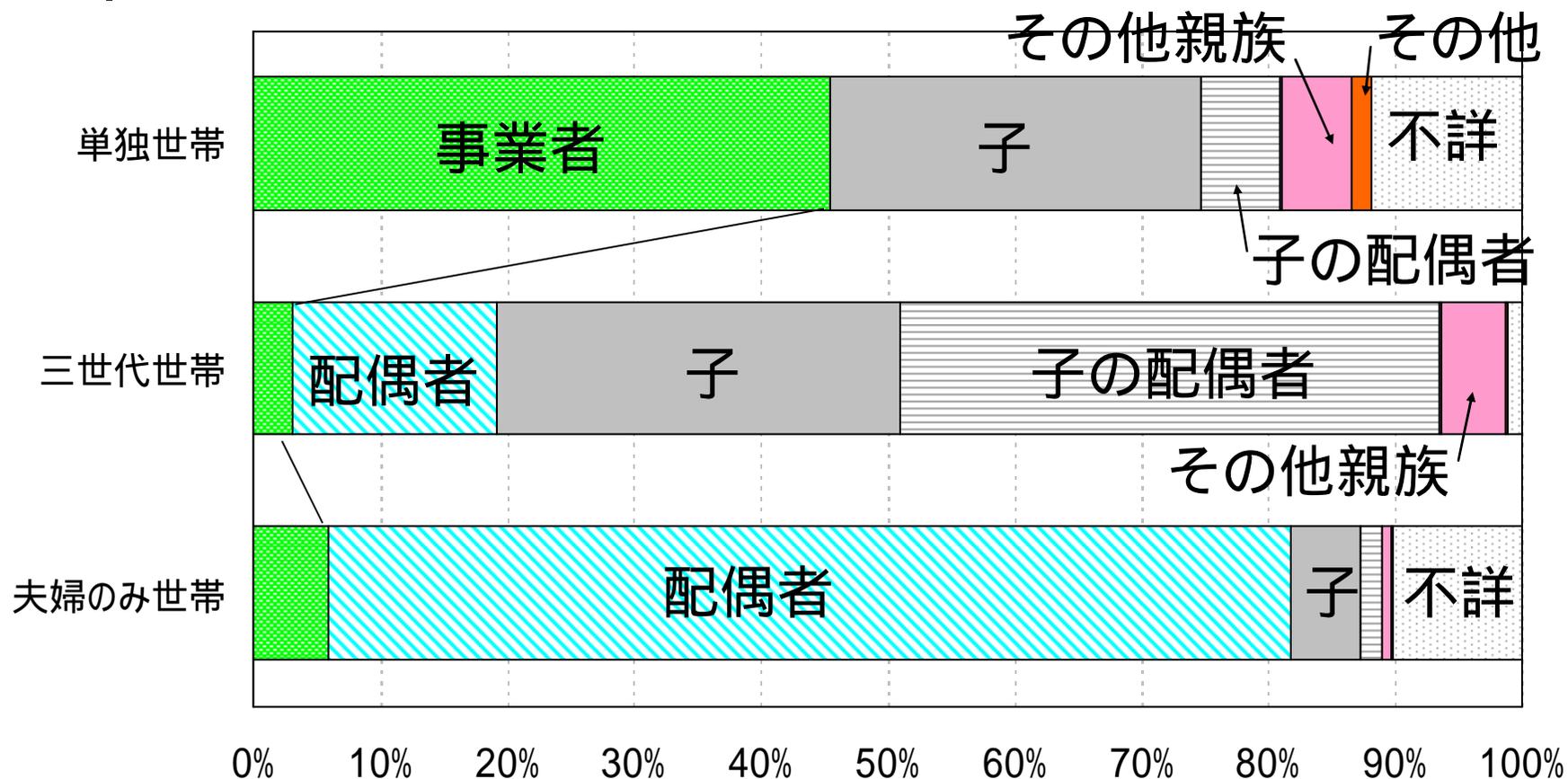


(資料)厚生労働省『自殺死亡統計の概況』(2005年) 37



2. 介護需要の高まり

要介護者を抱える世帯について 世帯類型別にみた主な介護者の続柄

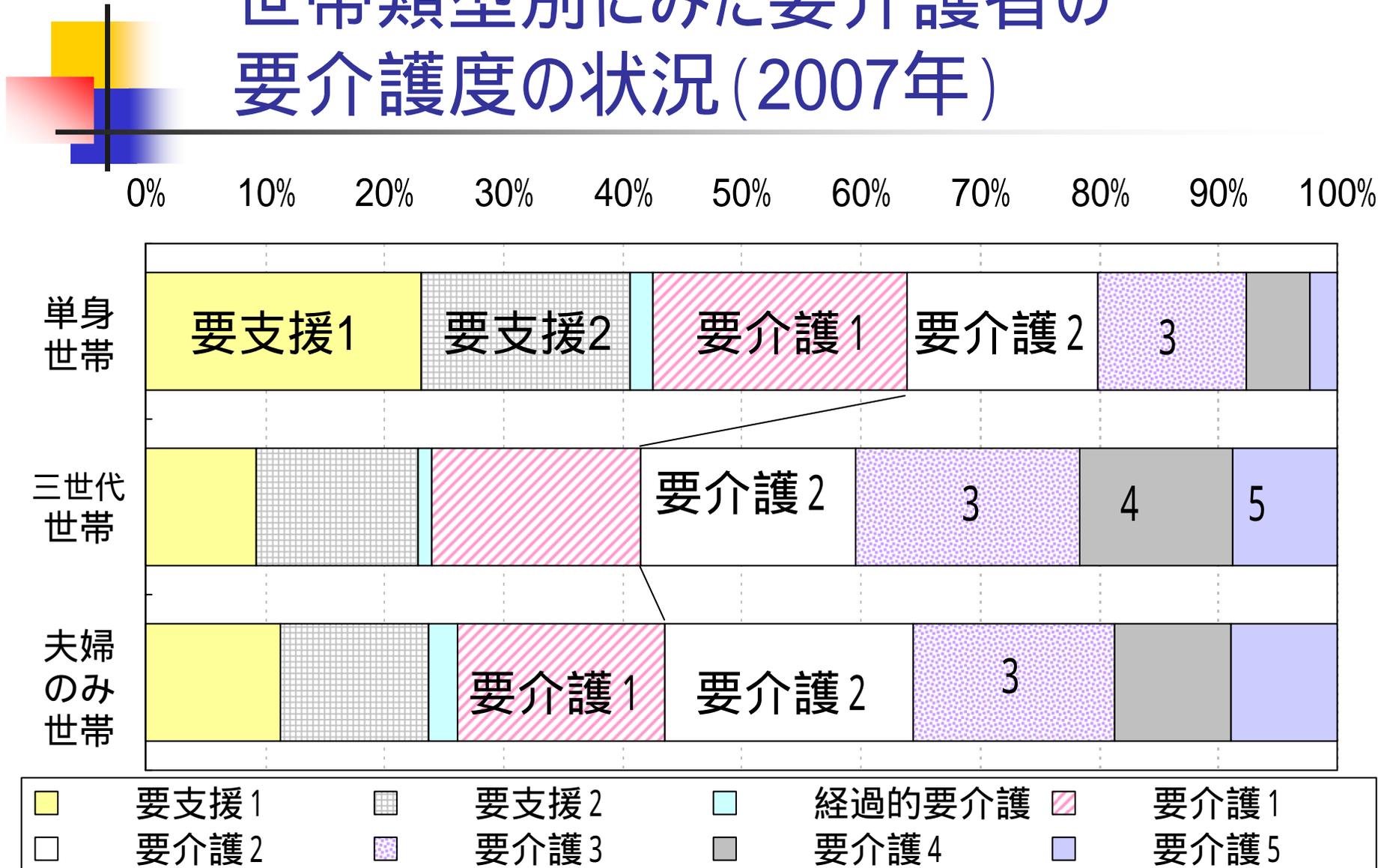


「事業者のみ」が担う主な居宅介護の内容－上位5位

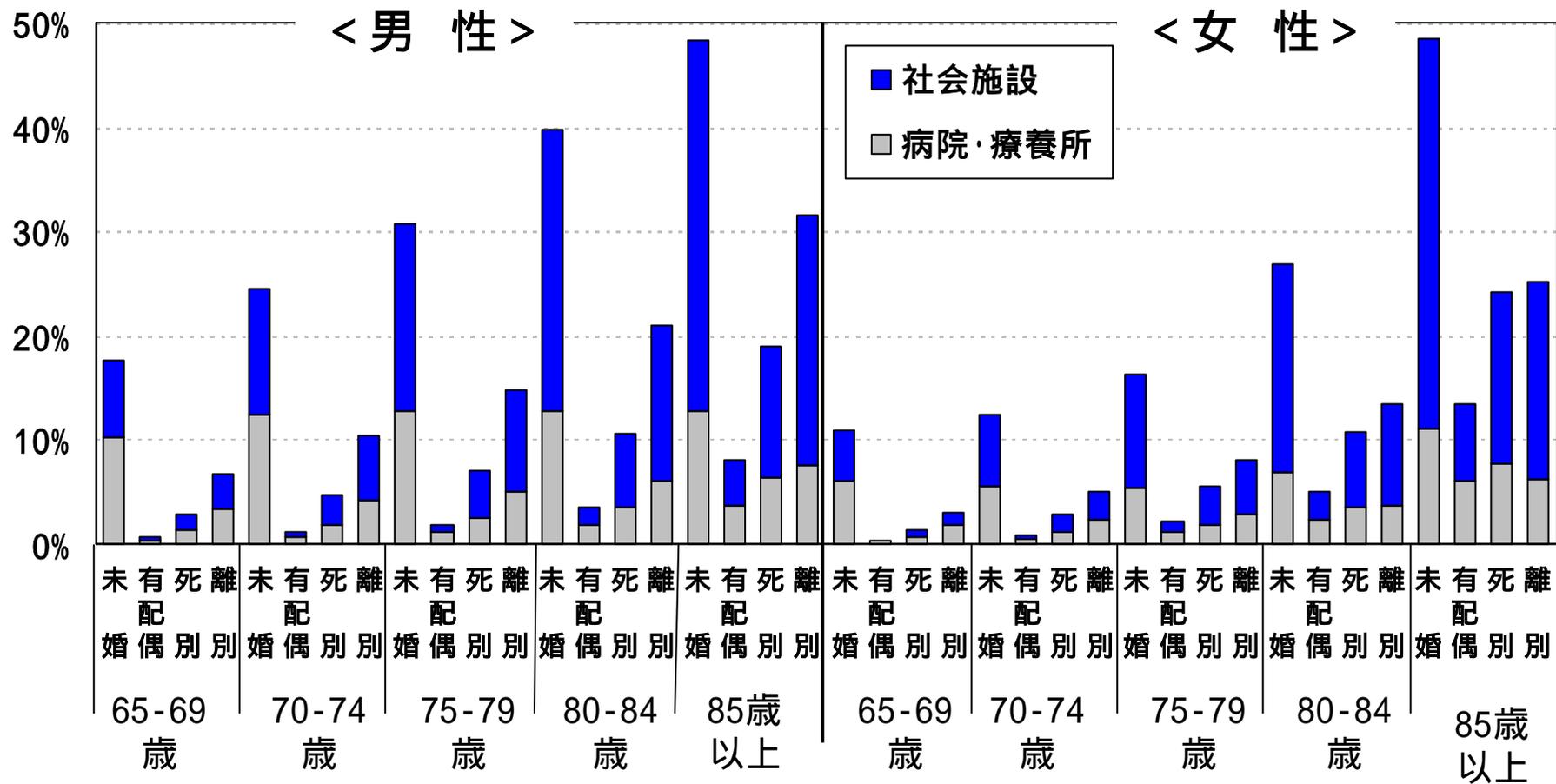
()内の単位：%

	単身世帯	三世代世帯	夫婦のみ世帯
1位	掃除(47)	入浴介助(34)	入浴介助(22)
2位	食事の準備(38)	洗髪(31)	掃除(17)
3位	買い物(33)	身体の清拭(17)	洗髪(16)
4位	入浴介助(30)	散歩(9)	食事の準備(12)
5位	洗濯(26)	口腔清掃(7)	身体の清拭(11)

世帯類型別にみた要介護者の要介護度の状況(2007年)

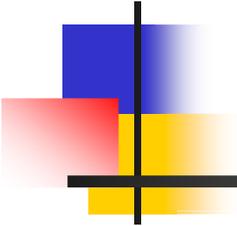


配偶関係別人口に占める社会施設・病院 への入所者・入院者の割合(2005年)



(資料)総務省『平成17年国勢調査』

3. 地域社会から 孤立する人々の増加

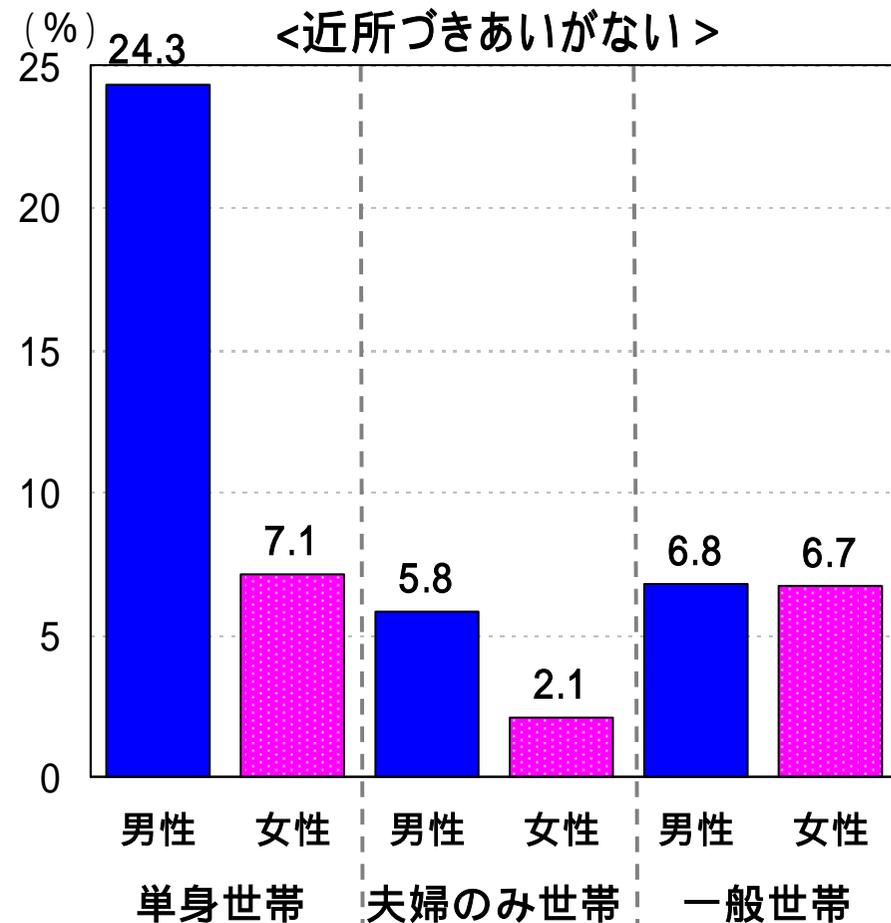
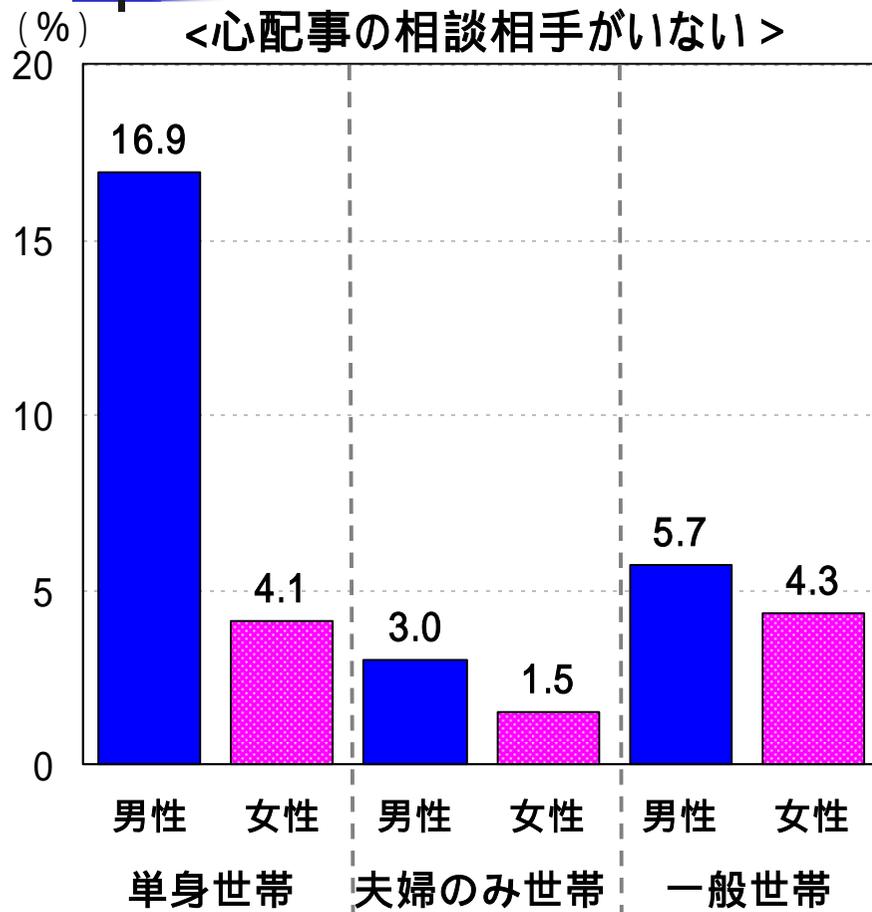


「家族と過ごす時間」 / 「家族以外の人と過ごす時間」を全くもたない65歳以上高齢者の割合

(単位：%)

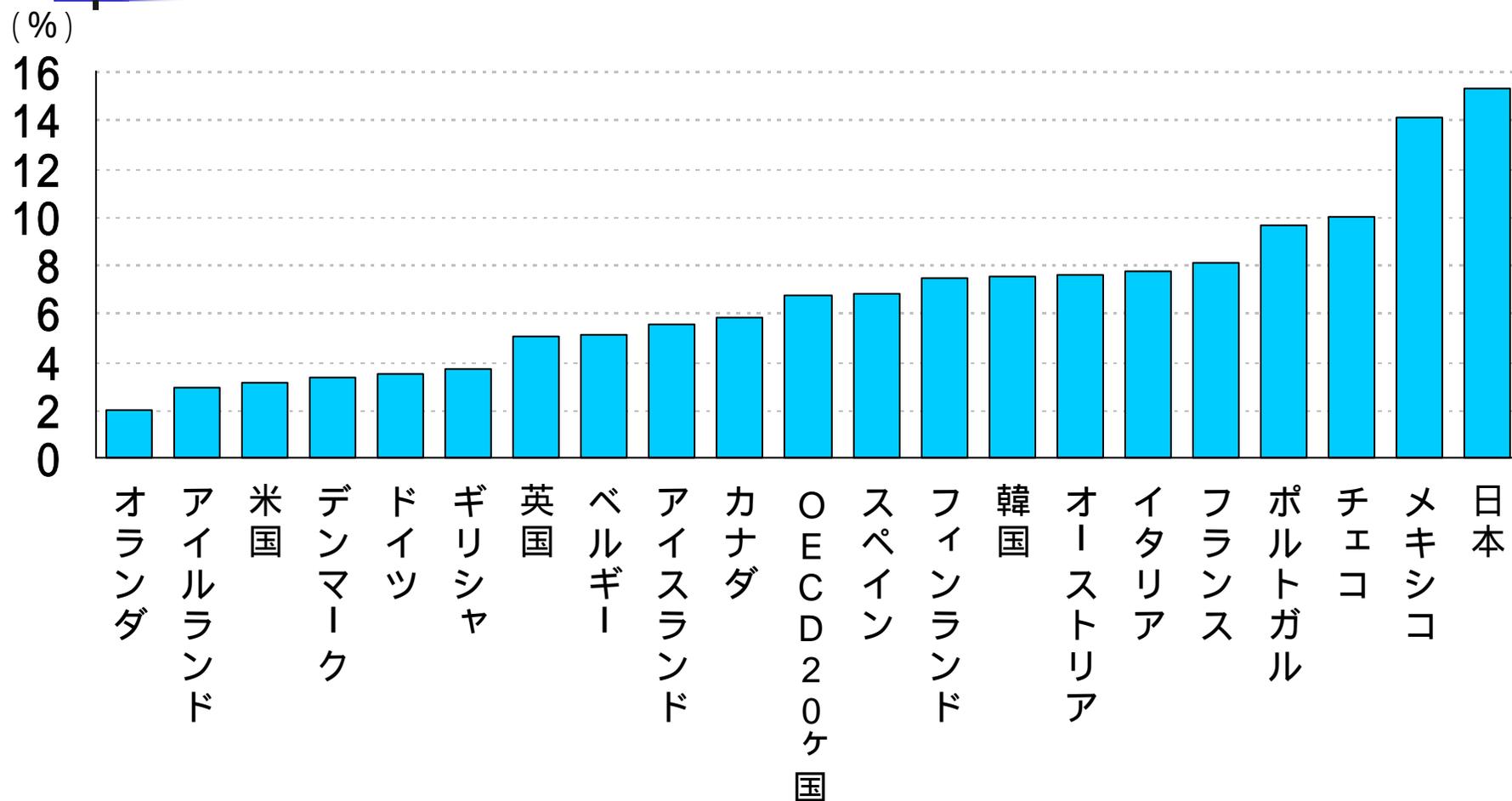
	男 性		女 性	
	「家族と過ごす時間」を全く持たない人の割合	「家族以外の人と過ごす時間」を全く持たない人の割合 (最低値)	「家族と過ごす時間」を全く持たない人の割合	「家族以外の人と過ごす時間」を全く持たない人の割合 (最低値)
高齢単身世帯	84.0%	52.7%	82.7%	49.1%
子はいない	95.7%	59.2%	96.8%	45.1%
子が近所に居住	71.4%	46.2%	70.9%	53.2%
高齢夫婦のみ世帯	4.5%	59.2%	4.8%	62.2%

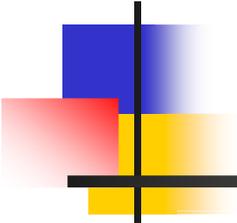
65歳以上高齢者について世帯類型別にみた地域における人間関係



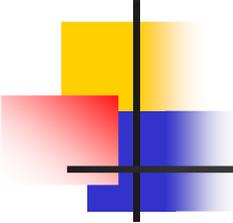
社会的孤立の国際比較

「家族以外の人」と交流のない人の割合



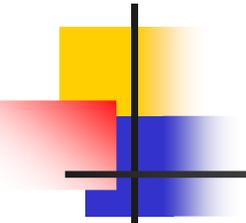


「单身急増社会」への対応



三つの対応

- 社会保障の強化
- 「トランポリン型社会保障」の構築
- 地域コミュニティのつながりの強化



1. 社会保障の強化と財源確保

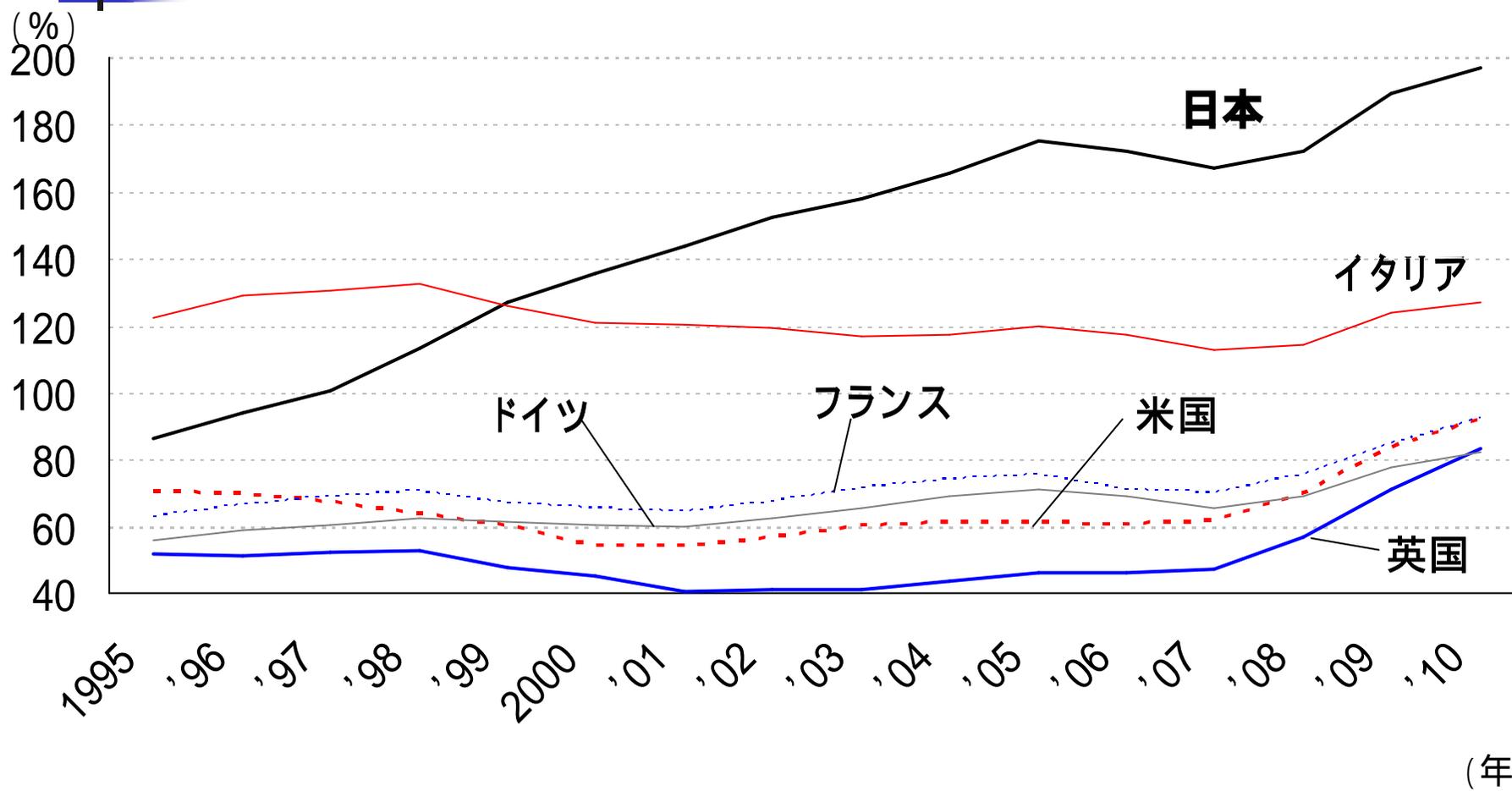
(1) 今のまま、国債依存？

(2) 歳出削減？

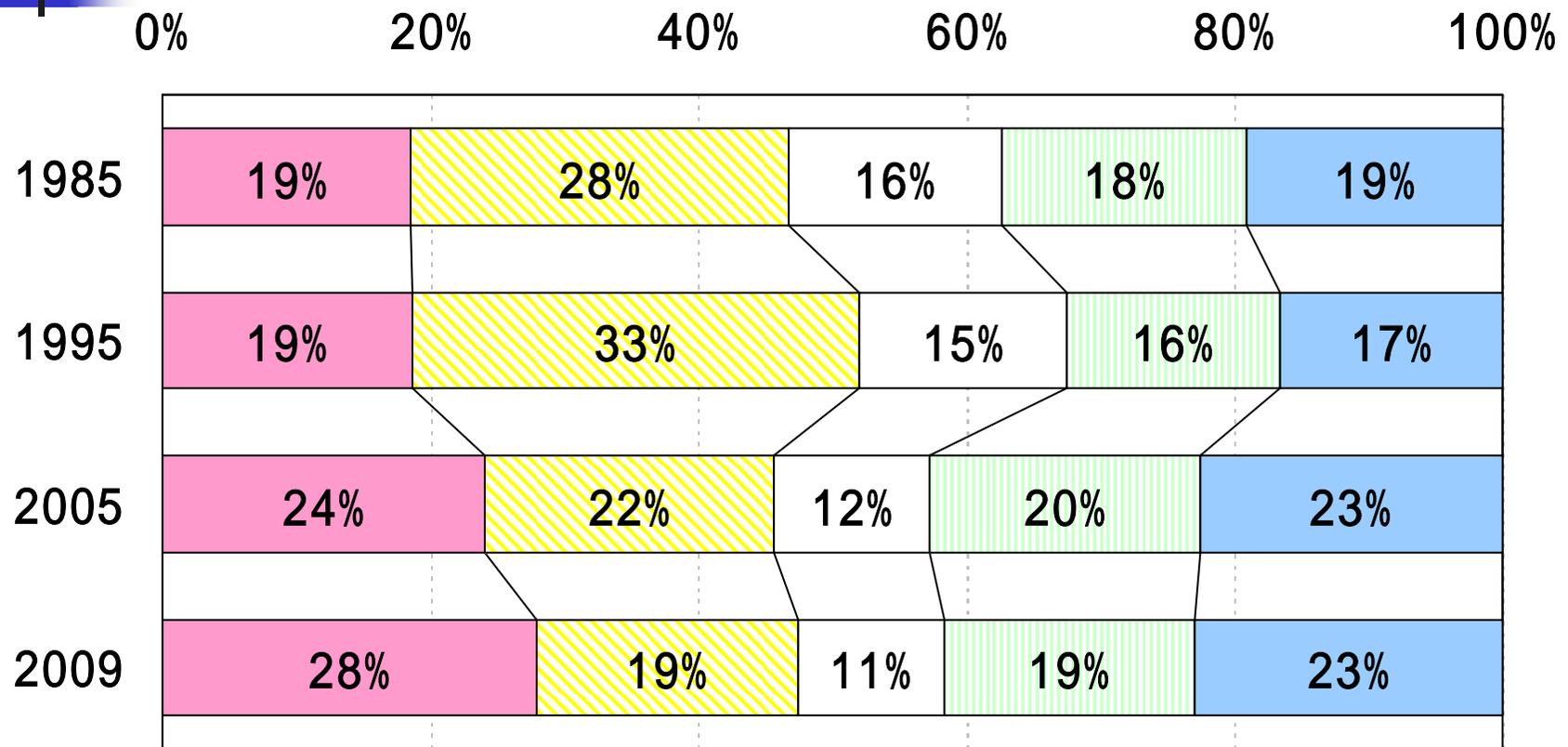
(3) 経済成長？

(4) 税金と社会保険料の引き上げが必要

国・地方の債務残高(対GDP比)の推移

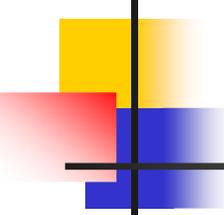


一般会計歳出の主要経費割合



■ 社会保障
 ■ 文教・防衛・公共事業
 ■ その他
 ■ 地方財政関係費
 ■ 国債費

(資料) 財務省HP



社会保障の強化と財源確保

(1) 今のまま、国債依存？

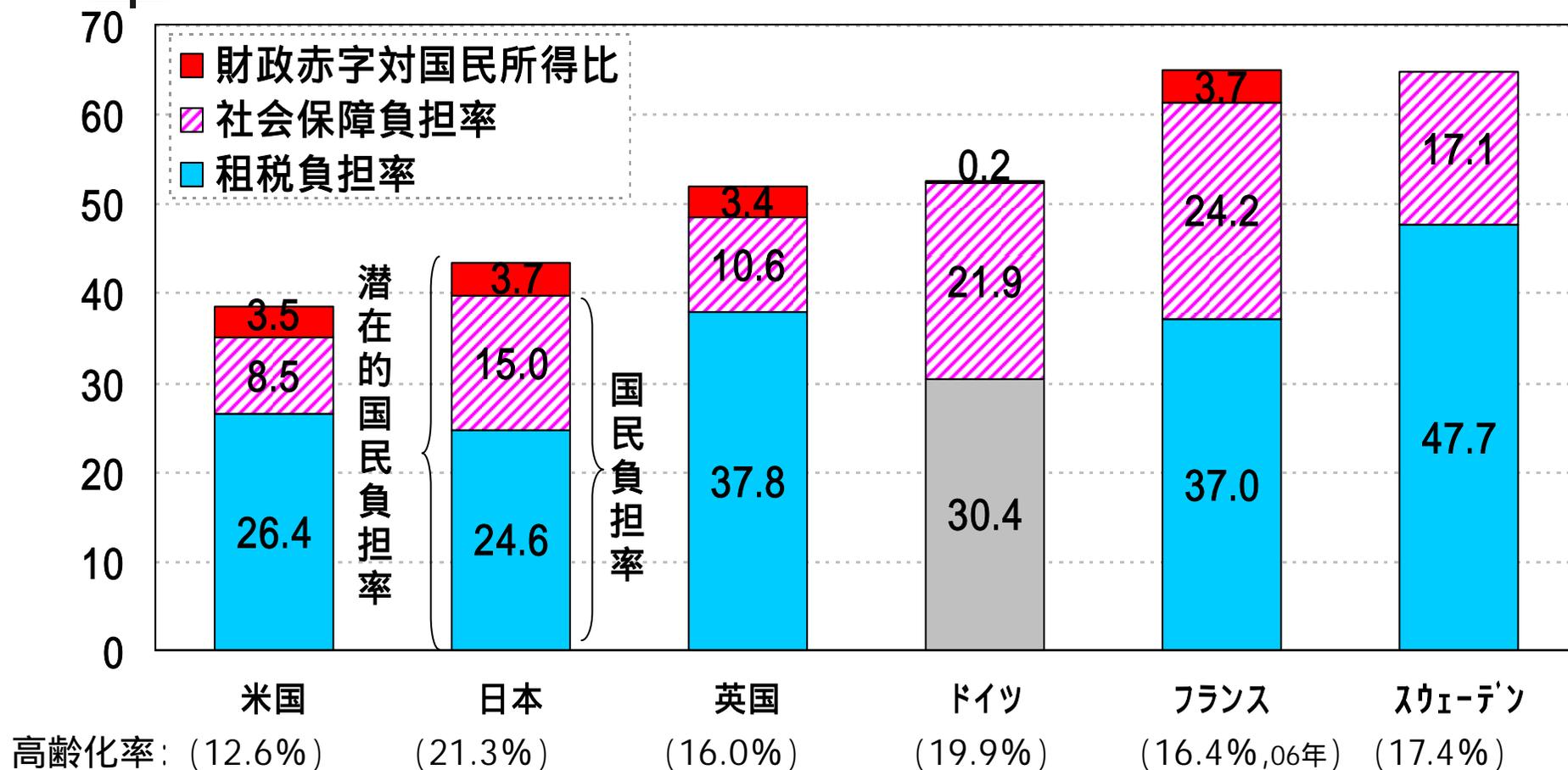
(2) 歳出削減？

(3) 経済成長？



(4) 税金と社会保険料の引き上げが必要

国民負担率・潜在的国民負担率 の国際比較(2007年)



(資料)財務省「日本の財政関係資料」、

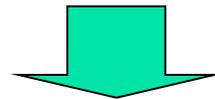
高齢化率: 国立社会保障・人口問題研究所人口統計資料集(2010年)

2. 「トランポリン型社会保障」

(職業紹介、職業訓練機能、WLB等の強化)

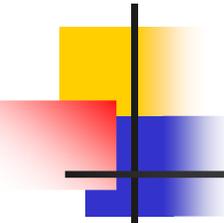
< 今後予測される状況 >

- 労働力人口: 年平均で20万～45万人減少
(06年～30年)
- 介護職員数: 年平均5.3万人～7.7万人増やす必要
(07年～25年)



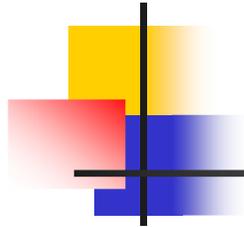
< 「トランポリン型社会保障」の意義 >

- 働くことが何よりも生活防衛、経済の担い手の育成、長期的にみた財政負担の軽減



3. コミュニティーとの結びつきの強化

- NPO法人（介護系NPO）の活動の強化
 - 公的サービスでは提供できない支援
 - サービスの提供側と受け手が相互になる。 交流の場
 - 資金、経営ノウハウ、人的ネットワークの支援(行政)
- 団地・マンションにおける地域活性化活動
- 「団塊の世代」による参画



ご清聴、ありがとうございました